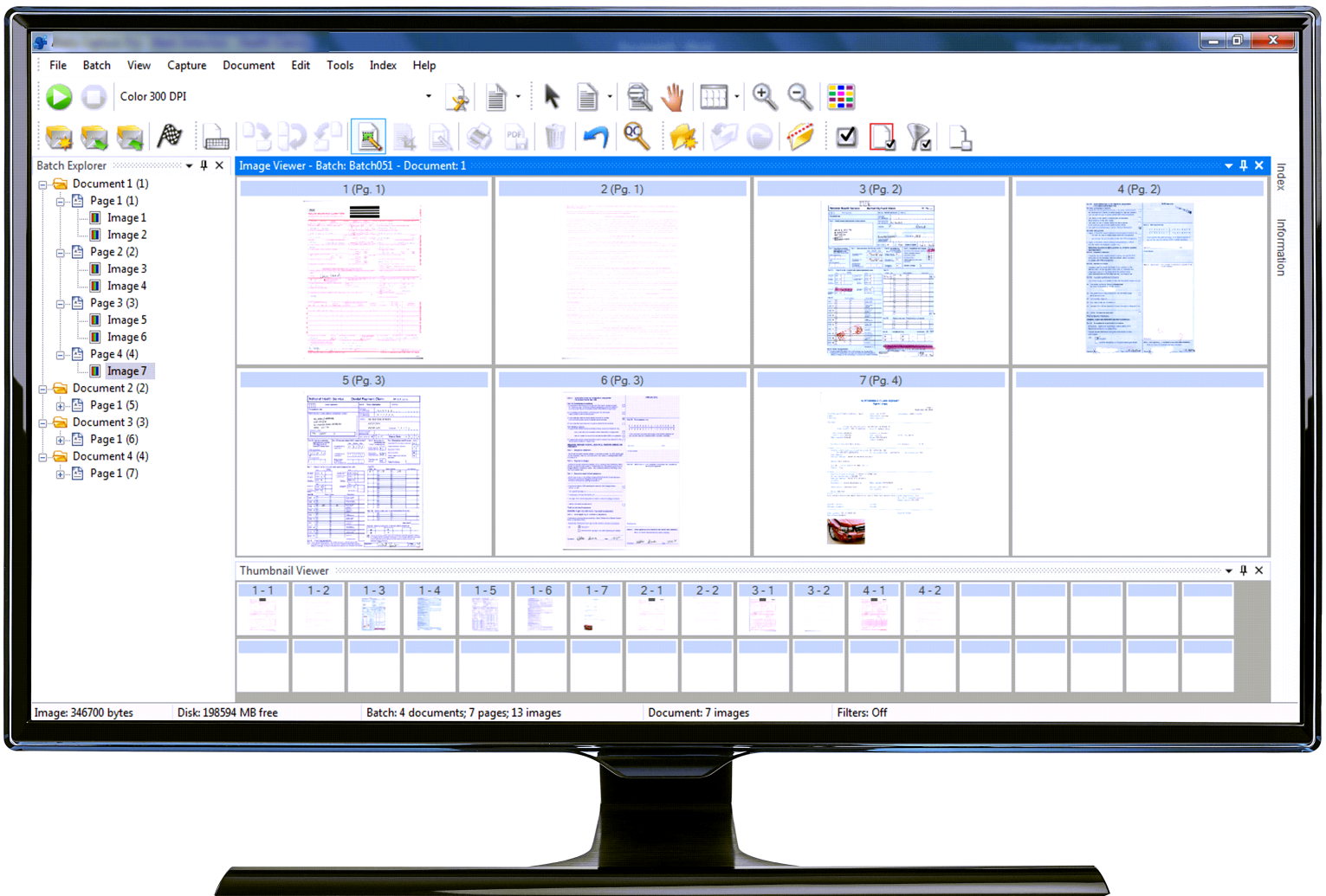


Kodak

キャプチャプロ ソフトウェア

ユーザースガイド





# 目次

はじめに	1
参考資料	1
専門用語	2
キャプチャプロ ソフトウェアの起動	2
スキャナーの選択	3
クイック スタート	4
[バッチマネージャ] ダイアログボックス	5
新規バッチを作成	6
既存のバッチを開く	7
バッチの削除	7
ジョブの使用	9
編集オプション	11
画像の回転	11
範囲の描画	12
画像の切り取り	12
画像の一部を白抜きにする	13
ページの添付	13
画像の再スキャン	13
画像の削除	13
一連のドキュメントの削除	14
バッチからの白紙画像の削除	14
バッチの出力 (処理)	16
エラーのクリア	16
ユーザインターフェイス	17
メインウィンドウ	17
メニューバー	19
[ファイル]メニュー	19
ワークステーションを設定	21
[バッチ]メニュー	22
[表示]メニュー	23
[キャプチャ]メニュー	24
[ドキュメント]メニュー	25
[編集]メニュー	26
[ツール]メニュー	27
インテリジェント QC ツール ダイアログボックス	28
[インデックス]メニュー	30
データベース検索の使用	31
ダブルデータ入力の使用	31
入力問題を解決	33
[ヘルプ]メニュー	34
ツールバー	35
キャプチャツールバー	35
バッチツールバー	35
ドキュメントツールバー	35
表示ツールバー	36
ナビゲーションツールバー	36
フラグツールバー	37
編集ツールバー	37
インデックスツールバー	38
スキャナー調整ツールバー	38
バッチエクスプローラ	39
イメージビューア	40
画像の状況依存メニュー	40
サムネイルビューア	42
サムネイルビューアの状況依存メニュー	42

インテリジェント QC ツール .....	42
インデックスウィンドウ .....	44
情報ウィンドウ .....	45
[バッチ処理ステータス]ウィンドウ .....	46
ステータスバー .....	46
メインウィンドウのインターフェイスの変更 .....	47
トラブルシューティング .....	49
テクニカルサポート .....	49
付録 A キーボードのショートカット .....	51

# 1 はじめに

---

Kodak キャプチャプロ ソフトウェアは画像処理、フォーム処理、およびワークフローに最適なアプリケーションであり、スタンドアロンアプリケーションとしても優れています。このソフトウェアはカラー、白黒、グレースケールでの片面・両面スキャン、インデックス付け、バッチ処理を管理します。バッチは多くの一般的なアプリケーションに簡単にエクスポートできます。キャプチャプロ ソフトウェアを使用すれば、ご利用のスキャナーの機能を十分に活用して、生産性を最大限に向上できます。このソフトウェアだけですべての機能をサポートしているため、特別なハードウェアアクセラレーションは要りません。

キャプチャプロ ソフトウェアは、速さ、正確さ、そして使いやすさを重視して設計されています。スキャナー性能を引き出し、最大限の生産性を実現できます。高速のマルチページ表示によって、画像やオプション インデックスデータをドキュメントとしてスキャン中に確認できます。スキャン操作をシンプルにするため、アイコンで操作できるツールを一通り揃えています。

本書では、新しいバッチの作成、ドキュメントのスキャン、スキャン画像の編集、バッチの出力に関する基本手順を説明します。また、ウィンドウ、メニュー、ツールについての説明も含まれています。

## 参考資料

この『ユーザーズガイド』のほか、下記の資料も用意されています。

- **オンラインヘルプ** — 詳細な製品設定、ユーザインターフェイスの詳細、その他多数の高度な機能などの製品情報を提供します。ヘルプファイル内で情報を検索するには、目次、インデックス、検索機能を利用できます。

ヘルプにアクセスするには、**[F1]** を押して、ダイアログボックスの **[ヘルプ]** ボタンを選択するか、またはウィンドウの右上の **[?]** アイコンをクリックします。

- **スタート ガイド** — キャプチャプロ ソフトウェアのインストールと起動など、すぐに使い始めるための簡単な手順を説明します。デフォルトで予め設定されたジョブ セットアップを使用したスキャン手順も紹介しています。このガイドの PDF は、キャプチャプロ ソフトウェア サポート のウェブページ: <https://support.alarisworld.com/capture-pro-software#Manuals> のマニュアルおよびガイド セクションにあります。
- **管理者ガイド** — キャプチャプロ ソフトウェアを最も効率的に使用するためのジョブ セットアップの作成方法について、詳しい情報を提供します。その他、ページセットアップ、バーコードおよびパッチコード、自動インポートなどに関する情報も含まれています。このガイドの PDF は、キャプチャプロ ソフトウェア サポートのウェブページ: <https://support.alarisworld.com/capture-pro-software#Manuals> のマニュアルおよびガイド セクションにあります。
- **ネットワーク編集: システム ガイド** — キャプチャプロ ネットワーク編集のインストレーション手順を説明します。このガイドの PDF は、キャプチャプロ ソフトウェア サポートのウェブページ: <https://support.alarisworld.com/capture-pro-software#Manuals> のマニュアルおよびガイド セクションにあります。
- **リリースノート** — その他の補足資料に掲載されていない情報が記載されています。リリースノートを表示するには、[www.kodakalaris.com/go/kcsdownloads](http://www.kodakalaris.com/go/kcsdownloads) に進み、ウェブサイトのワークステーション/クライアントソフトウェア セクションに移動します。

## 専門用語

ご利用前に、キャプチャプロ ソフトウェアで使用される専門用語の一部について、基本を理解しておくに役立ちます。

キャプチャプロ ソフトウェアは「ジョブ」ベースのソフトウェアです。**ジョブ**とは、一連のスキャンするドキュメントのキャプチャと処理のための業務設定です。

ジョブでドキュメントをスキャンするには、まず**バッチ**を作成して、スキャンしたドキュメント、画像とデータを格納した後出力します。

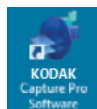
キャプチャプロ ソフトウェアは、スキャンしたドキュメントを以下の階層にまとめます。

- **バッチ**：スキャンしたドキュメントを1つ以上含みます（複数の個別ドキュメントを格納するフォルダやハンギングファイルに類似）。
- **ドキュメント**：単一項目に関連する1ページ以上を含みます（封筒の内容など）。
- **ページ**：画像を作成するためにスキャナーに給紙する物理的な紙を指します。
- **画像**：スキャンしたページの電子的表現。

出力はバッチを該当する出力システムや場所に、選択したフォーマットで出力するプロセスです。

## キャプチャプロ ソフトウェアの起動

[インデックスのみ] または [自動インポート] エディションを使用していない場合は、スキャナーの電源が入っていて PC に正しく取り付けられていることを確認してください。オプションハードウェア キーを購入した場合は、コンピュータの USB ポートに挿入されていることを確認してください。



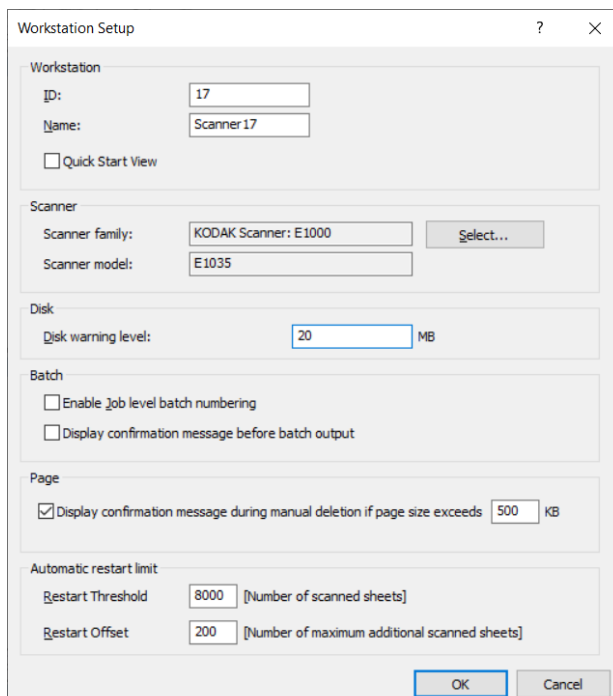
- デスクトップ上の [キャプチャプロ ソフトウェア] アイコンをダブルクリックします。
- または、[スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Kodak キャプチャプロ ソフトウェア] の順にアクセスします。

注記：

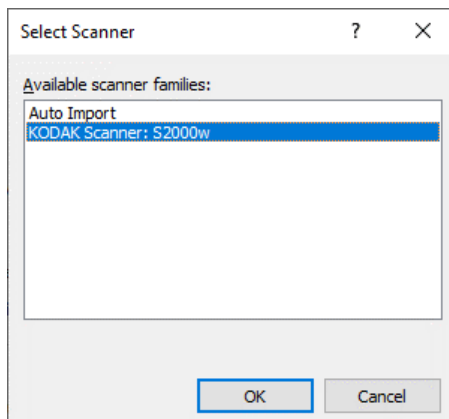
- ネットワーク エディションのクライアントにより、使用許諾取得中であることが警告されます。
- キャプチャプロ ソフトウェア ネットワーク エディションのクライアントは、キャプチャプロ サーバソフトウェアとの初期同期化を実行します。

## スキャナーの選択

キャプチャプロ ソフトウェアを初めて起動させると、「スキャナーが選択されていません。今すぐ設定を行いますか?」というメッセージが表示されます。**[はい]** をクリックし、[ワークステーション セットアップ] 画面を表示します。この画面では、利用可能なスキャナーのリストから使用するスキャナーを選択できます。次回以降のソフトウェアの起動では、この手順はスキップされます。



1. **[選択]** をクリックします。[スキャナー選択] 画面が表示されます。

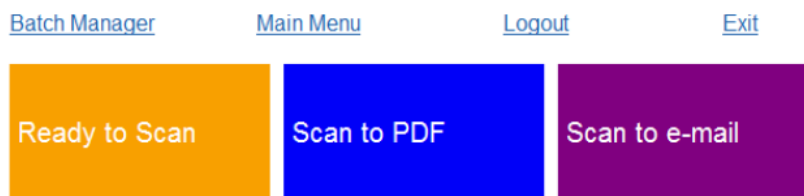


2. コンピュータにインストールしたスキャナーを選び、**[OK]** をクリックします。[クイック スタート] 画面が表示されます。
3. [ワークステーション セットアップ] 画面で **[OK]** をクリックします。
4. 実際のスキャナーの使用や手動操作なしでキャプチャプロに画像をインポートしようとする場合、**[オート インポート]** を選びます。

## クイック スタート

[クイック スタート] 画面には、一般的に使用される機能とジョブ タイルのメニューがあります。

ジョブ タイルのページには、設定されているジョブ セットアップが表示されます。タイルはアルファベット順に表示され、その他のジョブ タイルが追加、または削除されると、その色が変化する場合があります。



注記： 長いジョブ名はボタンに収まらないため、途中までしか表示されません。マウスをボタンの上に動かすと、完全なジョブ名が表示されます。ジョブ名の最初の数文字を一意的かつ説明的なものにすることをお勧めします。

**バッチ マネージャ** — 既存のドキュメント バッチを開く、新しいバッチを作成する、既存のバッチのステータスを確認することができます。

**メイン メニュー** — キャプチャ プロソフトウェアのメイン画面を表示します。手動で新しいバッチを開く、または作成する、ドキュメントのキャプチャを開始する、ジョブ セットアップを編集する、ユーザおよびグループを編集する、多くのシステム設定タスクを実行することができます。

**ログアウト** — 現在のユーザをログアウトします。

**終了** — キャプチャプロ ソフトウェアを終了します。

ジョブ タイルをクリックすると、ジョブ セットアップによって設定されるように新しいバッチが作成され、スキャンが始まります。ジョブを出力すると、[クイック スタート] 画面が再度表示されます。

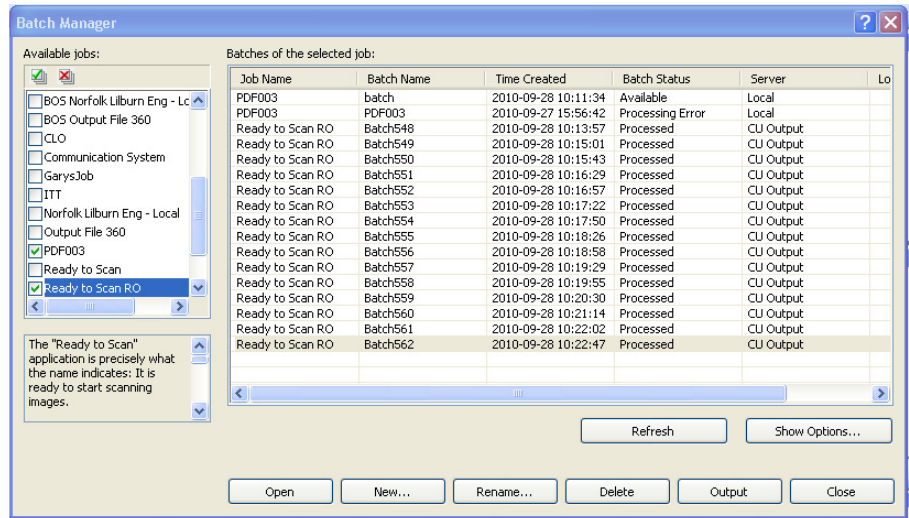
注記：

- 熟練ユーザの場合、またはクイック スタートのジョブ タイルを使用したくない場合は、[ワークステーション セットアップ] ダイアログボックスの [クイック スタート表示] のチェックを外すと、[クイック スタート] 画面を無効にできます。[ワークステーション セットアップ] ダイアログボックスにアクセスするには、メイン画面から [ファイル] > [ワークステーション セットアップ] の順に選択します。
- [表示] ツールバーにある [クイック スタート] アイコンは、[メイン メニュー] から [クイック スタート] 画面に戻る場合に使用できます。
- [クイック スタート] は、[インデックスのみ] または [自動インポート] エディションでは無効です。



## [バッチマネージャ] ダイアログボックス

キャプチャプロ ソフトウェアにログインした後、[クイック スタート表示] を有効にできない場合、[バッチマネージャ] ダイアログボックスが表示されます。[バッチマネージャ] ダイアログボックスは、[バッチ] > [開く] を選択しても表示できます。このダイアログボックスを使い、ジョブセットアップに関連するすべてのバッチを管理します。



**使用可能なジョブ** — すべてのジョブセットアップをリストします。これらのジョブセットアップから、バッチを選択します。



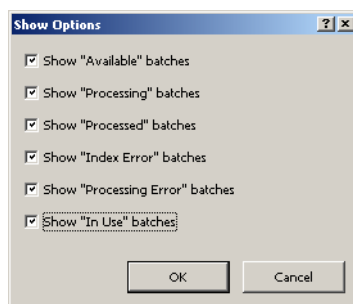
クリックすると、すべてのジョブセットアップのバッチが表示されます。



クリックすると、すべてのジョブセットアップのバッチが非表示になります。

**選択されたジョブのバッチ** — 選択されたジョブの [ジョブ名]、[バッチ名]、[作成時刻]、[バッチステータス]、および [ロックの期限] フィールドが表示されます。

**オプションを表示** — [オプションを表示] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスでは、[バッチマネージャ] ダイアログボックスのバッチステータスフィールドに表示される状態（すなわち、使用可能、処理中、等）を選択できます。



**開く** — リストで選択したバッチを表示します。[開く] コマンドは、「使用中」と表示されているバッチを開けません。既存のバッチを開くには、スキャンした画像の位置に対する読み取り/書き込み権限が必要です。

**新規** — [新規バッチ] ダイアログボックスが表示されます。ここでは新しいバッチを作成できます。

**名前の変更** — [バッチ名を変更] ダイアログボックスを表示します。ここでは、選択したバッチの名前を変更できます。

**削除** — 選択したバッチを削除します。削除すると、削除を確認するメッセージボックスが表示されます。

**出力** — 処理するバッチを出力します。

**注記：** グループ A および B のライセンスでは、バッチを出力するには実際のスキャナーと接続する必要があります。スキャナーと接続せずにバッチを出力する必要がある場合は、インデックス 使用許諾を購入して行うこともできます。

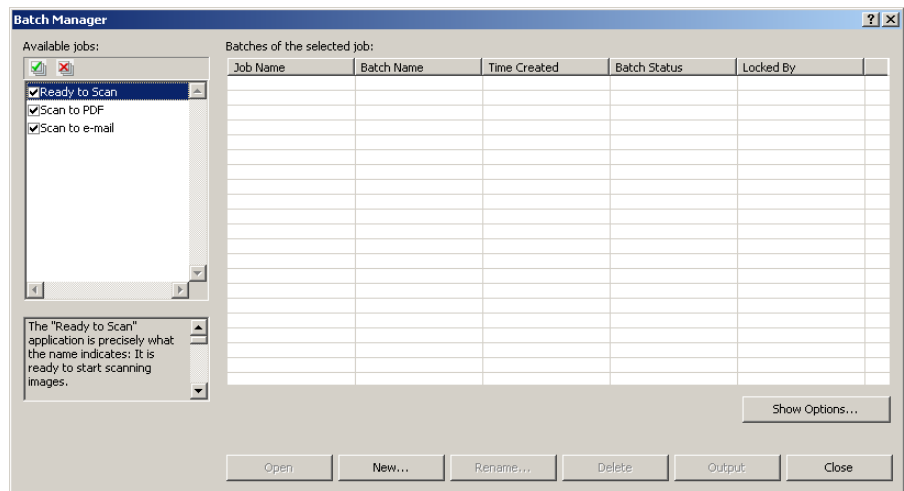
**閉じる** — ダイアログボックスを閉じます。

## 新規バッチを作成

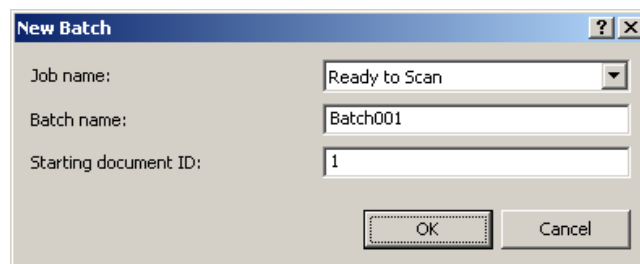
ドキュメントをスキャンする場合、新規バッチを作成するか、或いは既存のバッチを開いてスキャンする必要があります。ほとんどの場合、使用するジョブはシステム管理者が既に設定しています。[バッチマネージャ] ダイアログボックスにジョブがリストされます。

新規バッチを作成するには：

1. キャプチャプロ ソフトウェアを起動させます。[バッチマネージャ] ダイアログボックスが表示されます。



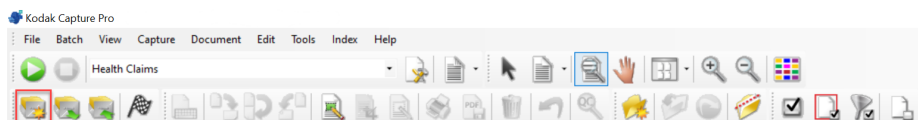
2. **[新規]** を選択します。[新規バッチ] ダイアログボックスが表示されます。



3. [ジョブ名] ドロップダウンリストからジョブセットアップを選択します。新しいバッチは、このジョブセットアップで設定されたとおりにキャプチャされ、出力されます。
4. 必要であれば、[バッチ名] フィールドに新規バッチ名を入力します。デフォルトでは、キャプチャプロ ソフトウェアはジョブセットアップのために最後に作成されたバッチ名に基づいた新規バッチ名を提案します。たとえば、前回のバッチ名が Health030 の場合は、次の新規バッチ名として Health031 がデフォルトで表示されます。

注記： ネットワーク エディション クライアントの場合、[ジョブレベル バッチ番号設定を有効にする] がワークステーションのセットアップで無効にされ、バッチ名に <BATCH\_COUNTER> が含まれる場合、バッチ名は「システムにより設定」となり、変更できません。

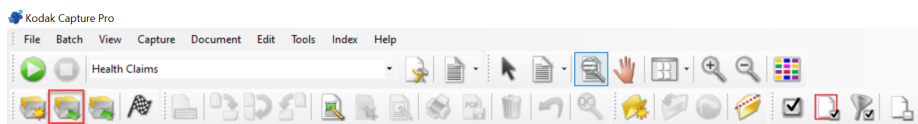
5. 必要であれば、**開始ドキュメント ID** を入力します。開始ドキュメント ID とは、バッチに含まれる最初のドキュメントに指定する ID とのことです。ほとんどの場合、ID は 1 です。デフォルトでは、このソフトウェアは[ジョブセットアップ] で設定された開始ドキュメント番号を薦めます。
6. **[OK]** をクリックします。メインウィンドウに指定したバッチ名と一緒にイメージビューアが表示されます。スキャンを開始するまで、イメージビューア、バッチエクスプローラ、及びサムネイルビューアには何も表示されません。
7. また、ツールバーに **[新規バッチ]** のアイコンをクリックして、新しいバッチを作成できます。



## 既存のバッチを開く

既に作成されたバッチを開くには：

1. **[バッチ] > [開く]** を選択します。[バッチマネージャ] ダイアログボックスが表示されます。設定内容に応じて、すべてのジョブセットアップ内のバッチが表示されます。
2. 目的のバッチをハイライト表示して、**[開く]** をクリックします。選択したバッチの内容が、イメージビューア と バッチエクスプローラ に表示されます。開いたバッチで作業できます。
3. **[バッチを開く]** アイコンをクリックして、[バッチマネージャ] ダイアログボックスを開きます。

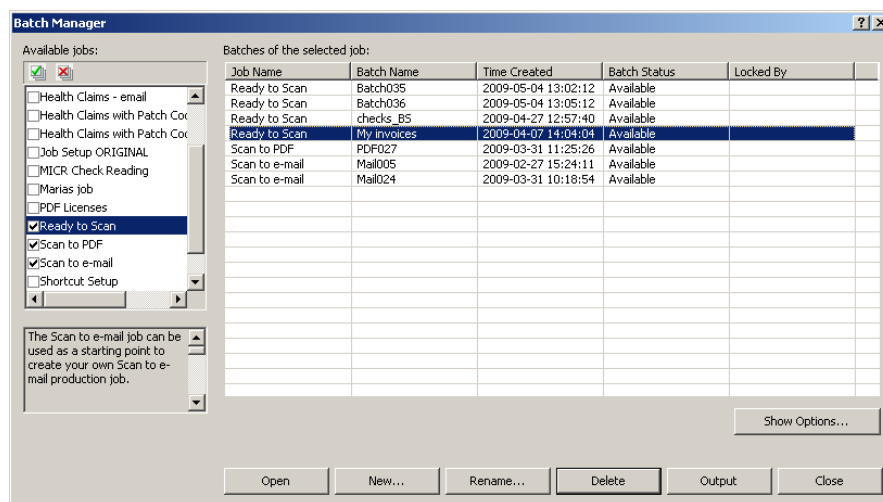


注記： 複合スキャナでスキャンして、且つ選択したバッチが既にほかのワークステーションに開かれた場合、キャプチャプロソフトウェアはこのバッチの開きを許可できません。このバッチは今、ほかのユーザーに使われているので、開けませんというメッセージが表示されます。

## バッチの削除

バッチの削除によって、選択したバッチ内の画像とサブディレクトリ構造の両方が削除されます。

1. [バッチ] > [開く] を選択します。[バッチマネージャ] ダイアログボックスが表示されます。設定内容に応じて、すべてのジョブセットアップ内のバッチが表示されます。



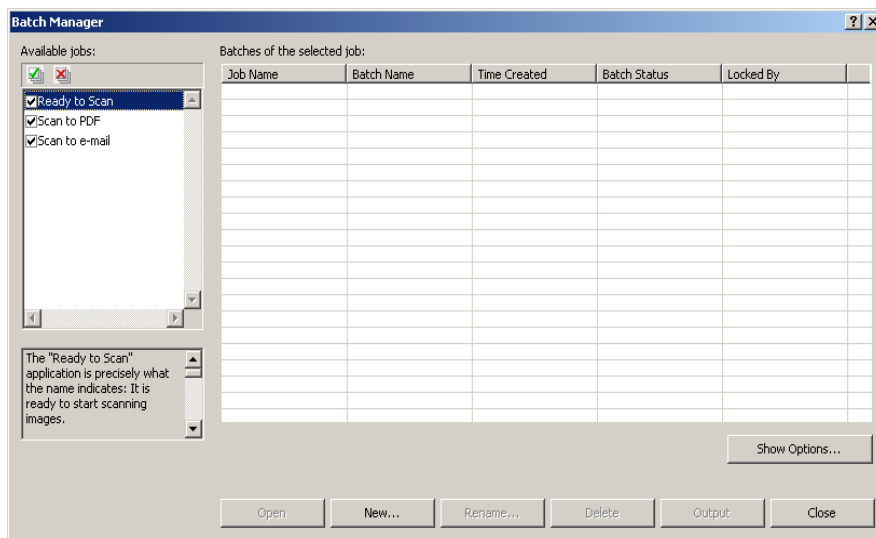
2. 目的のバッチをハイライト表示して、[削除] をクリックします。「選択したバッチ "XXXXXX" を削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されます。
3. [OK] をクリックします。

## ジョブの使用

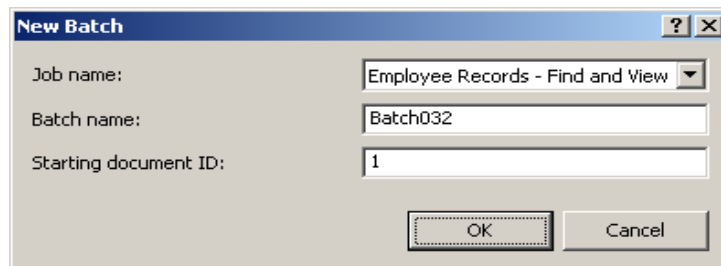
ここでは、新しいバッチの作成、原稿のスキャン、バッチの出力に関する基本手順を説明します。インデックス付け、OCR ゾーンの設定、パッチの読取、異なる出力ソースの選択などに関する詳しい情報は、Kodak キャプチャプロソフトウェアの『管理者ガイド』に見られます。

注記：キャプチャプロソフトウェアを使用する時、操作を完成するには、いくつかの方法があります。たとえば、バッチを開く場合、メニューバーから**[バッチ] > [開く]**の順に選択するか、**[バッチを開く]** ツールバーボタンをクリックするか、或いは**F3** ショートカットキーを押すことができます。ここでは、すべての手動操作はメニューバーを使用して説明します。メニュー、ツールバー ボタン、機能キーの完全なリストについては、17ページの「ユーザーインターフェイス」を参照してください。

1. キャプチャプロソフトウェアが起動していない場合は、起動させます。**[バッチマネージャ]** ダイアログボックスが表示されます。

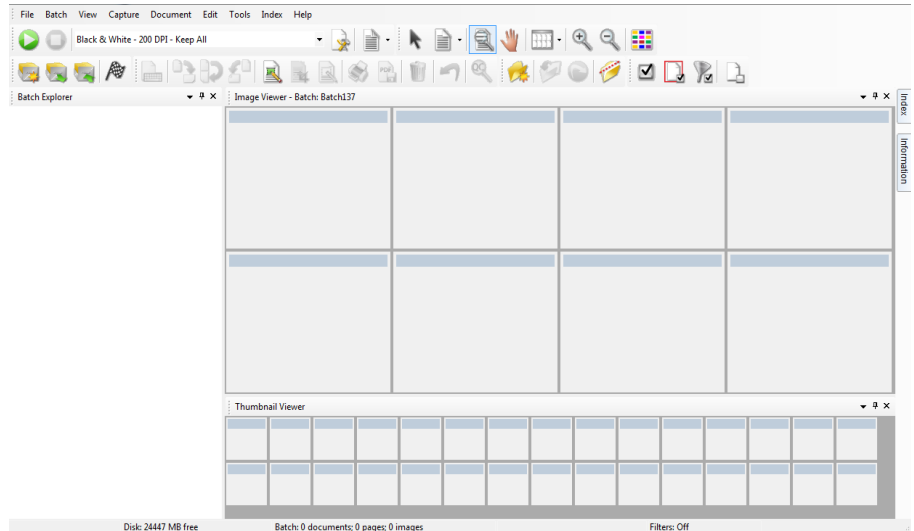



2. **[新規]** をクリックします。**[新規バッチ]** 画面が表示されます。



3. **[ジョブ名]** ドロップダウンボックスから目的のジョブセットアップを選択します。**[バッチ名]** と **[開始ドキュメント ID]** は、自動的に記入されます。これらは必要に応じて変更することができます。

4. **[OK]** をクリックします。メイン画面が表示され、スキャンを開始できる状態になります。



5. スキャンするドキュメントのファイルをスキャナーの入料トレイに入れます。
6.  **[スタート]** をクリックします。スキャナーが給紙します。
7. スキャン終了後、必要な編集オプションを実行できます（白紙ページの削除、画像の回転や切り取りなど）。一部の使用可能なオプションの簡潔な説明については、11ページの「編集オプション」を参照してください。
8. バッチの編集が完了したら、**[バッチ]** > **[出力]** の順に選択します。バッチ出力タスクが始まり、**[新規バッチ]** 画面が表示されます。バックグラウンド処理中に、この画面で別のスキャンセッションを開始できます。

注記： グループ A および B のライセンスでは、バッチを出力するには実際のスキャナーと接続する必要があります。スキャナーと接続せずにバッチを出力する必要がある場合は、インデックス 使用許諾を購入して行うこともできます。

スキャンした画像は指定した場所へ送信されます。

## 編集オプション

バッチを出力する前に、画像が希望通りであることを確認します。調整が必要な場合は、ツールを使用できます。ここでは、普通に使われている編集機能の手順を説明します（画像の回転、削除、切り取りなど）。画像の分割や結合の手順については、Kodak キャプチャプロ ソフトウェアの『管理者ガイド』を参照してください。

すべてのメニューオプションとツールバーオプションは、第2章「ユーザインターフェイス」に説明されています。

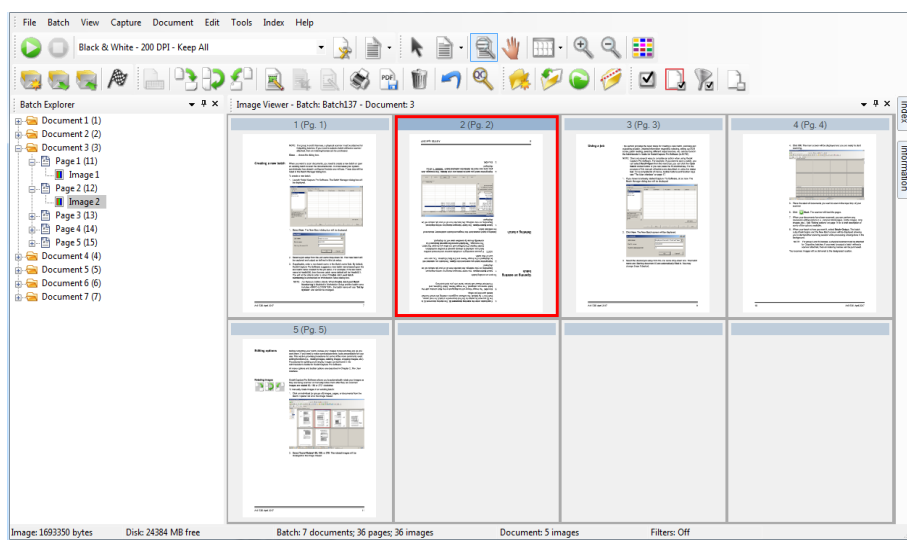
### 画像の回転



キャプチャプロ ソフトウェアでは、スキャン時に画像が自動的に回転するか、或いはスキャン後に手動で画像を回転できます。画像は時計回り方向に 90°、180°、270°回転できます。

既存のバッチで画像を手動で回転するには：

1. 個別(またはグループ単位)の画像、ページ、ドキュメントを [バッチエクスプローラ] リストやイメージビューア上でクリックします。



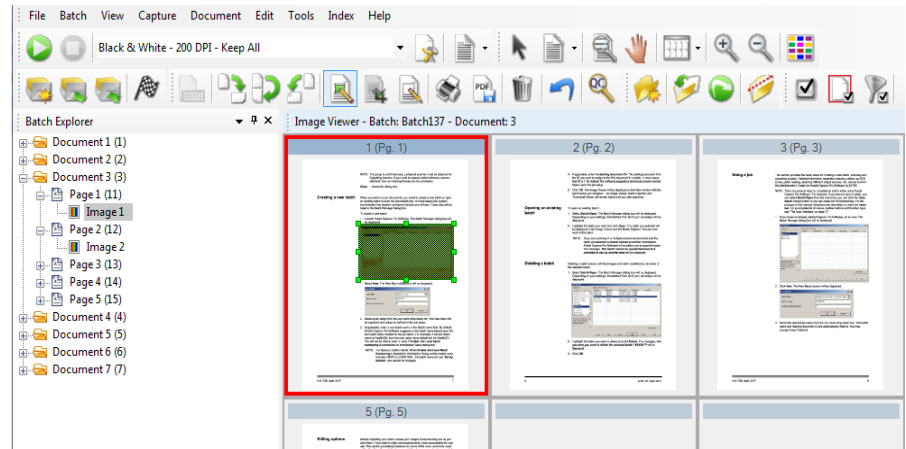
2. [ツール] > [回転] > [90]、[180]、または[270] の順に選択します。イメージビューアに回転した画像が表示されます。

## 範囲の描画



[描画範囲] ツールを使用すると、画像の一部に四角形の領域を描画できます。**[白抜き]** で領域内を空白にしたり、**[切り取り]** を使って領域のサイズに画像を切り取ることができます。

1. イメージビューアで、切り取りまたは白抜きする画像をクリックします。
2. **[ツール] > [描画範囲]** を選択します。
3. 選択する画像の一部の上に、描画範囲のカーソルをクリックしたままドラッグして、四角形の領域を作成します。カーソルをリリースすると、四角形が緑色になります。



4. これで、領域を切り取りしたり、白抜きしたりできます。

領域を削除するには：

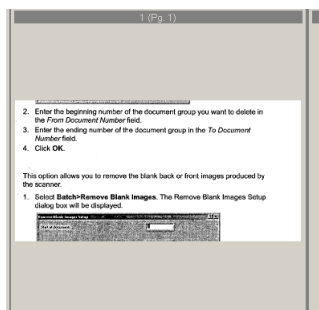
- 緑色の四角形を含む画像を右クリックして、**[範囲を 選択解除]** を選びます。

## 画像の切り取り



[描画範囲] ツールと [切り取り] オプションを使用して、作成した四角形の領域を切り取ります。

1. [バッチエクスプローラ] 内で切り取る画像をクリックします。選択した画像が、イメージビューアに赤枠で表示されます。
2. **[ツール] > [描画範囲]** を選択します。
3. 保存する画像の一部の上に、描画範囲のカーソルをクリックしたままドラッグして、四角形の領域を作成します。カーソルをリリースすると、四角形が緑色になります。
4. **[ツール] > [切り取り]** を選択します。緑色の四角形以外の画像部分が削除され、選択した領域だけがイメージビューアに残ります。



5. **[はい]** をクリックして、設定を保存します。



## 画像の一部を白抜きにする



画像の一部を白抜きにする場合は、画像に領域を描画して、[白抜き] ツールを使用します。四角形の中の領域が白抜きになります。

1. 白抜きにする画像をバッチエクスプローラ内でクリックします。
2. **[ツール] > [描画範囲]** を選択します。
3. 白抜きにする画像の一部の上に、描画範囲のカーソルをクリックしたままドラッグして、四角形の領域を作成します。カーソルをリリースすると、四角形が緑色になります。
4. **[ツール] > [白抜き]** を選択します。この画像では、先ほどの緑色の四角形の内部が白抜きになります。
5. **[はい]** をクリックして、設定を保存します。

## ページの添付



このオプションでは、既存のドキュメントに追加されるページをスキャンできます。

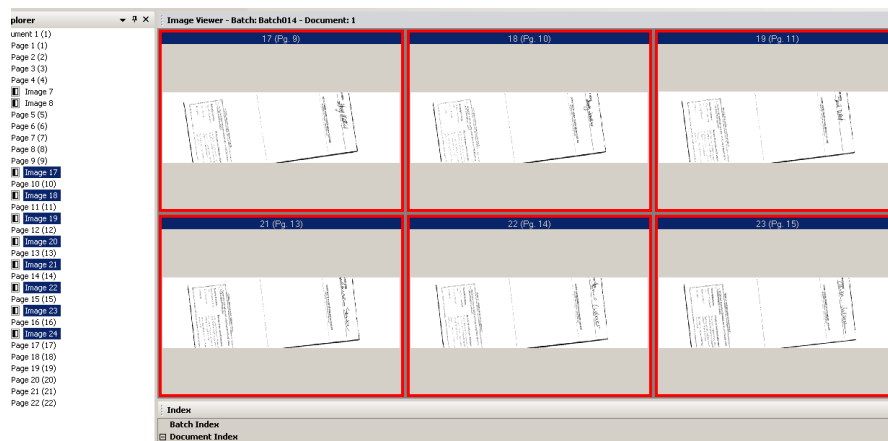
1. バッチエクスプローラで、ページを追加するドキュメントを選択します。
2. **[ドキュメント] > [ページの添付]** をクリックします。
3. 画像をスキャンします。選択したドキュメントの最後に、新しいページが表示されます。

## 画像の再スキャン



スキャンした画像のバッチを確認すると、時には一部のドキュメントを再スキャンする必要があります。

1. 再スキャンが必要なページ (1 ページ以上) をハイライト表示します。



2. 原稿をスキャナーに正しい順番でセットします。
3. **[再スキャン]** アイコンをクリックします。画像が再スキャンされ、最初のスキャン位置に配置されます。

## 画像の削除

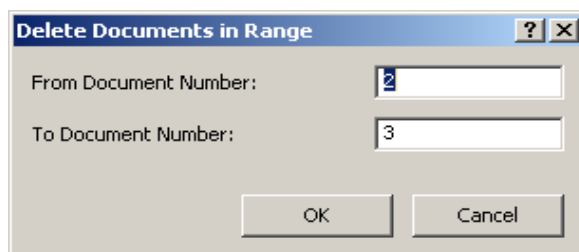
バッチから選択した画像を削除するには：

1. 削除する画像を選択します。
2. **[編集] > [削除]** を選択します。「**選択した項目を削除してもよろしいですか?**」というメッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックして、削除を確認します。

## 一連のドキュメントの削除

既存のバッチ内で一連のドキュメントを削除できます。

1. **[ドキュメント] > [削除する範囲]** を選択します。[一連のドキュメントを削除] ダイアログボックスが表示されます。

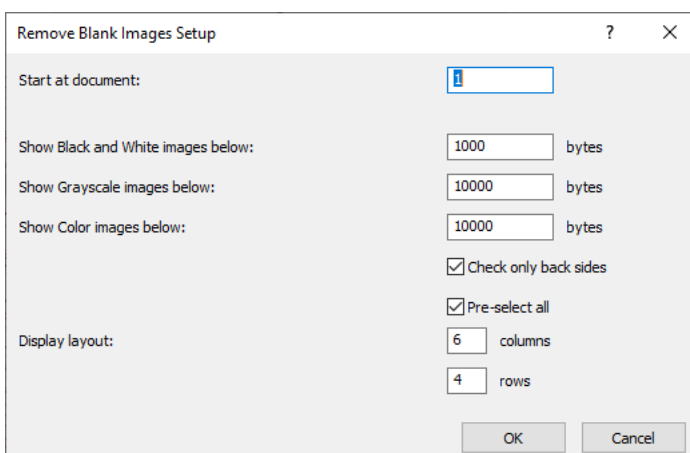


2. 削除対象ドキュメントグループの先頭ドキュメント番号を **[先頭ドキュメント番号]** フィールドに入力します。
3. ドキュメントグループの最終ドキュメント番号を **[最終ドキュメント番号]** フィールドに入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

## バッチからの白紙画像の削除

このオプションでは、スキャナーが生成した画像の裏面または表面の白紙を除去できます。

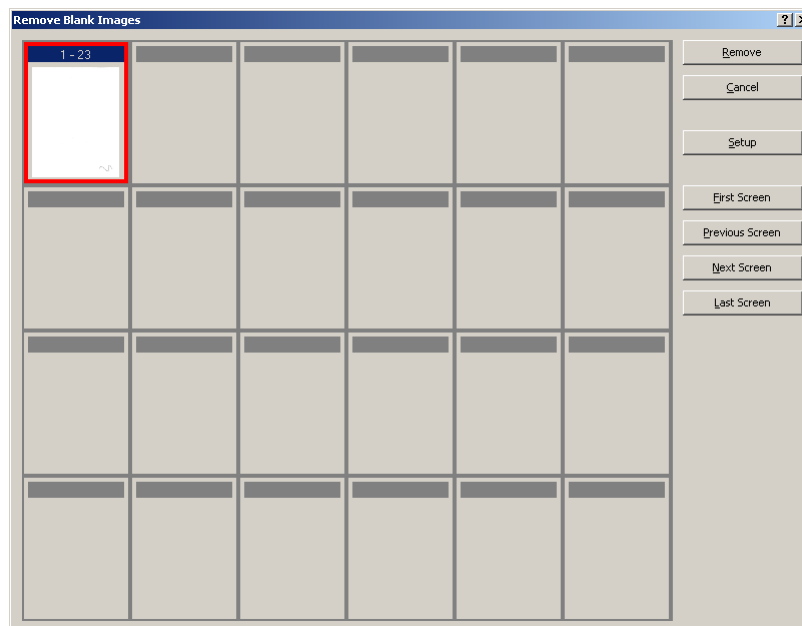
1. **[バッチ] > [白紙画像を削除]** の順にクリックします。[白紙画像セットアップを削除] ダイアログボックスが表示されます。



2. 白紙画像の検索を行うバッチで、先頭ドキュメント番号を、**[次のドキュメントから開始]** フィールドに入力します。デフォルトは、現在アクティブなドキュメントです。
3. **[下でグレースケール画像を表示]** および **[下でカラー画像を表示]** フィールドで確認する画像のバイトサイズの閾値を設定します。標準的な業務用ドキュメントに適した設定値は、白黒 200dpi の場合 3000 バイトです。
4. **[裏面のみ確認]** をクリックすると、バッチ内の画像の裏面の白紙だけが削除されます。
5. すべての画像が削除対象の候補である場合は、**[すべてを仮選択]** をクリックします。

- 表示する列と行の数を [表示レイアウト] フィールドで定義します。1024 x 768の SVGA 画面の場合、行列を14 x 7にすると、1画面当たり98枚の画像を確認できます。
- 入力した値を承認するには、**[OK]** をクリックします。

バッチが評価された後、設定した条件（たとえば、5000 バイト未満の裏面など）に一致するすべての画像が、キャプチャプロ ソフトウェアによって [白紙画像を削除] ウィンドウに表示されます。これらの画像は、赤色でハイライト表示されます。色が付いた画像はすべて白紙ページとみなされ、削除できる状態になっています。



- [白紙画像を削除] ウィンドウに白紙画像が表示されていない場合は、キャプチャプロ ソフトウェアでは、バッチ内で条件に一致する画像が見つからなかったことを意味します。[白紙画像を削除] ウィンドウの **[セッ アップ]** をクリックして [白紙画像セッ アップを削除] ダイアログボックスを再度開き、白黒および/またはカラー/グレースケールの画像に閾値の数値（バイト）を増やすことができます。
- デフォルトでは、すべての白紙画像が赤枠で囲まれており、削除対象になっています。削除する必要のない白紙画像は、個別にクリックして対象から外します。クリックすると、その画像の赤枠が消えます。
  - [先頭の画面]**、**[前の画面]**、**[次の画面]**、**[最後の画面]** を使用して、バッチ内ですべての可能な白紙画像の間をスムーズに移動できます。
  - [削除]** をクリックします。「**選択した画像をすべて削除しますか?**」というメッセージが表示されます。
  - 削除する白紙画像を確認して、**[はい]** を選択します。キャプチャプロ ソフトウェアでは、赤枠で囲まれている白紙画像が除去され、ドキュメントのページが再編されます。また、使用可能なバッチとハードディスク容量が更新されます。

## バッチの出力（処理）

編集作業が完了したら、バッチ出力の準備が整います。

キャプチャプロ ソフトウェアでは、1回に1つのバッチを出力（処理）するか、或いはすべてのバッチを同時に出力できます。

ジョブ内の現在のバッチを出力するには：

1. **[バッチ] > [出力]** をクリックします。

バッチが出力のキューに入ったら、**[新規バッチ]** ダイアログボックスが表示され、ドキュメントの別のバッチをスキャンできます。

注記： グループ A および B のライセンスでは、バッチを出力するには実際のスキャナーと接続する必要があります。スキャナーと接続せずにバッチを出力する必要がある場合は、インデックス 使用許諾を購入して行うこともできます。

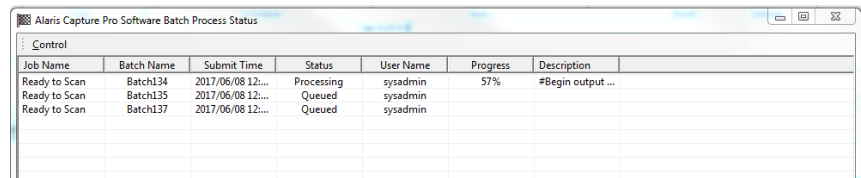
2. **[OK]** をクリックして、新規バッチで引き続きスキャン作業ができます。バッチを出力すると、**[ジョブセットアップ]** ダイアログボックスの **[出力]** タブで選択したシステム出力先に従ってバッチが処理されます。これによって、バッチは通常出力サブディレクトリパスにコピーされます。

現在のジョブセットアップ内のすべての使用可能なバッチを出力するには：

- **[バッチ] > [すべてのバッチを出力]** を選択します。**[バッチマネージャ]** ダイアログボックスが表示され、出力されるバッチを1つ以上選択できます。

出力の進行状況を表示するには：

- **[バッチ] > [バッチ出力ステータスを表示]** を選択します。**[キャプチャプロ バッチ処理ステータス]** ウィンドウが表示されます。



Job Name	Batch Name	Submit Time	Status	User Name	Progress	Description
Ready to Scan	Batch134	2017/06/08 12:...	Processing	sysadmin	57%	#Begin output ...
Ready to Scan	Batch135	2017/06/08 12:...	Queued	sysadmin		
Ready to Scan	Batch137	2017/06/08 12:...	Queued	sysadmin		

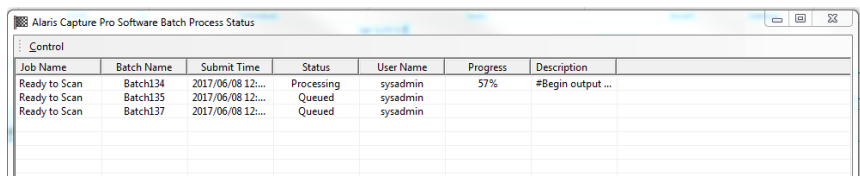
このウィンドウは、バッチ出力の進行状況に応じて更新されます。バックグラウンドで出力処理が行われている場合、スキャンタスクの優先度が高くなります。スキャンが完了するまで出力処理の速度は低下します。

## エラーのクリア

**[キャプチャプロ バッチステータス]** ウィンドウには、キャプチャプロ ソフトウェアから出力するバッチに関する情報が表示されます。

**[バッチステータス]** ウィンドウを表示するには：

- **[バッチ] > [バッチ出力ステータスを表示]** を選択します。



Job Name	Batch Name	Submit Time	Status	User Name	Progress	Description
Ready to Scan	Batch134	2017/06/08 12:...	Processing	sysadmin	57%	#Begin output ...
Ready to Scan	Batch135	2017/06/08 12:...	Queued	sysadmin		
Ready to Scan	Batch137	2017/06/08 12:...	Queued	sysadmin		

エラーをクリアするには：

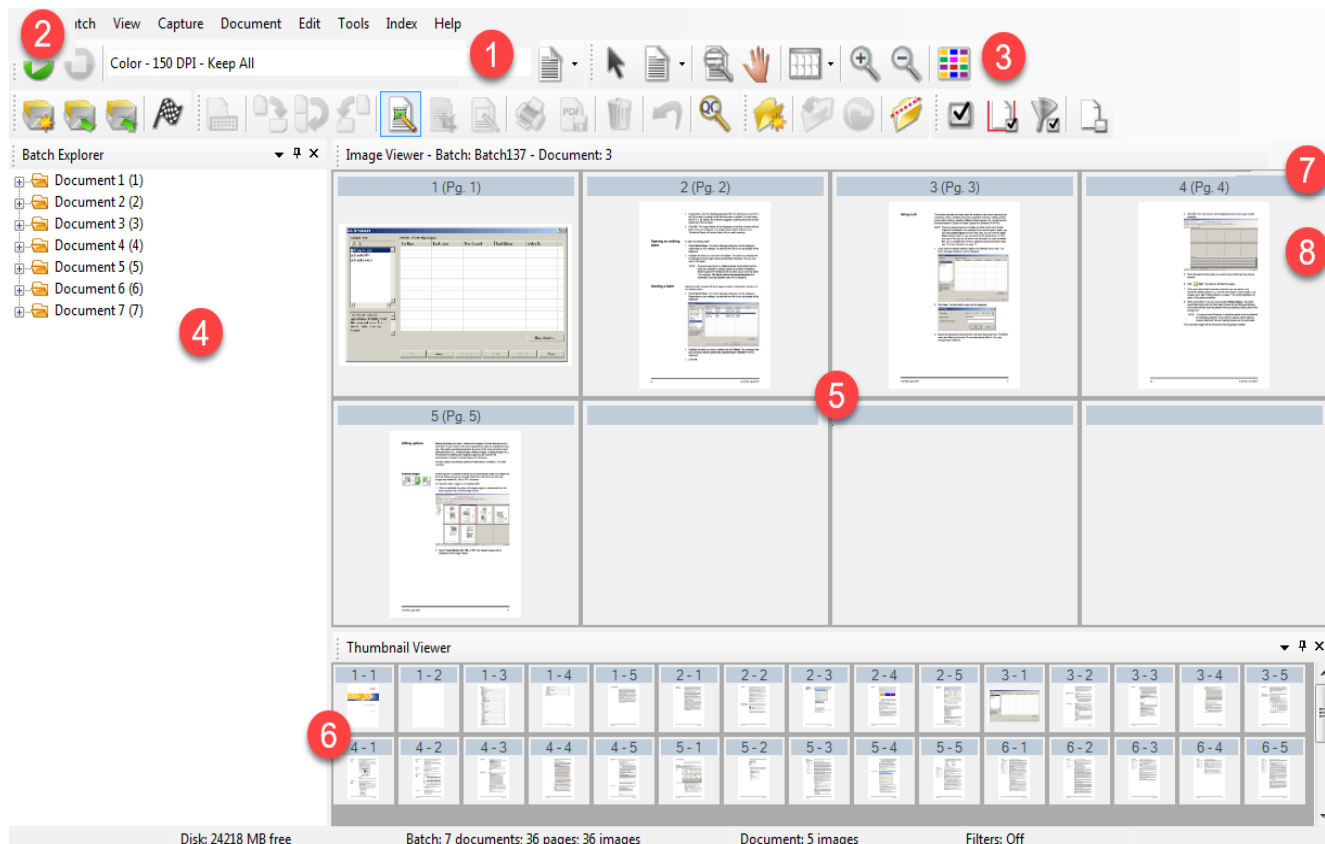
- バッチ名の入カグリッドを右クリックして、**すべてのエラーをクリア**または**選択したエラーをクリア**を選択します。

## 2 ユーザーインターフェイス

この章では、キャプチャプロ ソフトウェアのメインウィンドウ、メニューバー、ツールバー、及びビューアについて説明します。

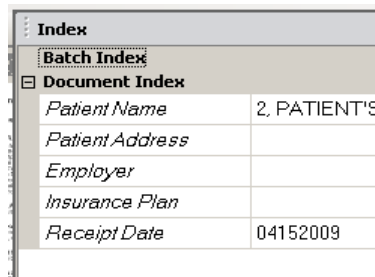
### メインウィンドウ

メインウィンドウには次のコンポーネントがあります。



- 1 **プログラムタイトルバー** — ジョブセットアップ名が表示されます。
- 2 **メニューバー** — 次のメニュー項目があります。ファイル、バッチ、表示、キャプチャ、ドキュメント、編集、ツール、インデックスおよびヘルプ。
- 3 **ツールバー** — 次のツールバーがあります。キャプチャ、バッチ、表示、ドキュメント、ナビゲーション、フラグ、編集およびインデックス。
- 4 **バッチエクスプローラー** — バッチ内のすべてのドキュメントフォルダ、ページ、画像ファイルを表示します。
- 5 **イメージビューア** — バッチ内の画像を表示します。イメージビューアには、1、2、4、8、またはそれ以上の枚数の画像を同時に表示するように設定できます。
- 6 **サムネイルビューア** — バッチ内のすべての画像のサムネイルを表示します。

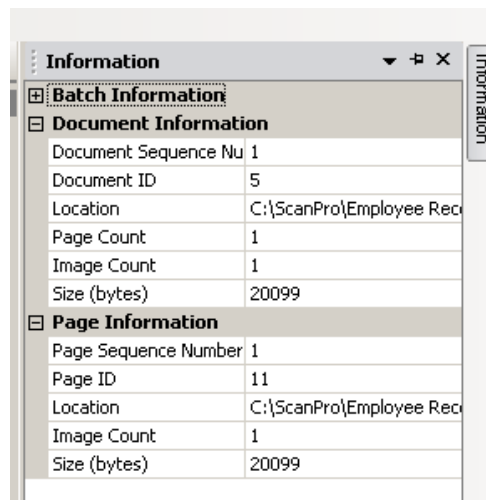
- 7 **[インデックス] タブ** — (メインウィンドウの右手側にある) [インデックス] タブをクリックすると、バッチやドキュメントのレベルインデックスを含む[インデックス] ウィンドウが表示されます。



The screenshot shows a window titled "Index" with a sub-tab "Batch Index". Underneath, there is a section "Document Index" containing a table with the following data:

<i>Patient Name</i>	2, PATIENT'S
<i>Patient Address</i>	
<i>Employer</i>	
<i>Insurance Plan</i>	
<i>Receipt Date</i>	04152009

- 8 **[情報] タブ** — (メインウィンドウの右手側にある) [情報] タブをクリックすると、[情報] ウィンドウが表示され、バッチ、ドキュメント、ページ、画像に関する詳細な統計情報が示されます。



The screenshot shows a window titled "Information" with a sub-tab "Batch Information". Underneath, there are two sections: "Document Information" and "Page Information", each with a table of statistics.

Document Information	
Document Sequence Nu	1
Document ID	5
Location	C:\ScanPro\Employee Rec
Page Count	1
Image Count	1
Size (bytes)	20099

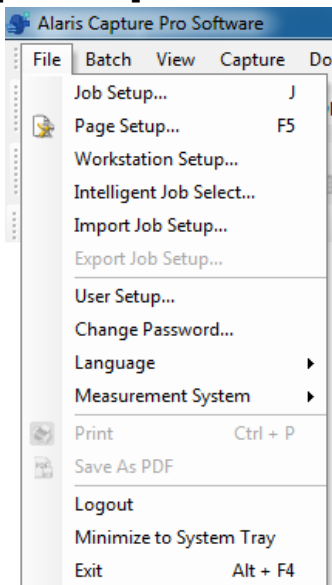
  

Page Information	
Page Sequence Number	1
Page ID	11
Location	C:\ScanPro\Employee Rec
Image Count	1
Size (bytes)	20099

## メニューバー

メニューバーには、以下のメニュー項目があります。ファイル、バッチ、表示、キャプチャ、ドキュメント、編集、ツール、インデックス、ヘルプ

### [ファイル] メニュー



[ファイル] メニューには、次のオプションが用意されています。

**ジョブ セットアップ** — [ジョブセット アップ] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、ジョブ セットアップのすべてのパラメータを設定できます。詳細については、Kodak キャプチャプロ ソフトウェアの『管理者ガイド』を参照してください。ショートカットは、J キーです。

**ページ セットアップ** — [ページ セットアップ] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、事前設定されたページ セットアップを選択したり、ジョブ セットアップ用に独自のカスタム ページ セットアップを作成したりできます。キャプチャプロ ソフトウェアには、予め設定された複数のページ セットアップが用意されています。予め設定されたページセットアップリストは、使用しているスキャナーによって異なります。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

**ワークステーション セットアップ** — [ワークステーション セットアップ] ダイアログボックスを表示します。ここでは、スキャンするドキュメントをキャプチャプロ ソフトウェアに取り込めるために、PC に接続されたスキャナーを選択できます。また、使用許諾を取得している場合は、[自動インポート] を選択すると、画像は自動的にキャプチャプロ ソフトウェアにインポートされます。手順については、21ページの「ワークステーションを設定」を参照してください。

**インテリジェントなジョブ選択** — [インテリジェントなジョブ選択] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、[機能パッチ] コード シートを使用して、スキャン中にジョブまたはページのセットアップを自動的に変更できます。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

**ジョブ セットアップをインポート** — [インポート] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、ジョブ セットアップをインポートできます。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

**ジョブ セットアップをエクスポート** — [エクスポート] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、ジョブ セットアップをファイルにエクスポートできます。詳細については、Kodak キャプチャプロ ソフトウェアの『管理者ガイド』を参照してください。

**ユーザー セットアップ** — [ユーザー セットアップ] ダイアログボックスを表示します。管理者はここで、キャプチャプロ ソフトウェアのユーザーを設定、管理できます。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

**パスワードを変更** — [パスワードを変更] ダイアログ ボックスを表示します。ここでは、自分のパスワードを変更できます。

パスワードを変更するには：

1. [ファイル] > [パスワードを変更] を選択します。[パスワードを変更] ダイアログボックスが表示されます。
2. 古いパスワードを入力して、そして新しいパスワードを入力します。
3. [パスワードを確認] フィールドに新しいパスワードを入力して、パスワードを確認します。
4. [OK] をクリックします。

**言語** — ユーザーインターフェイスに表示される言語を選択できます。以下の言語がサポートされています。英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、オランダ語、スペイン語、中国語、繁体字中国語、スウェーデン語、韓国語、トルコ語、チェコ語、ロシア語、アラビア語、ポーランド語と日本語。

言語を変更するには：

1. **[ファイル]** > **[言語]** を選択します。
2. 使用する言語を選択します。選択した言語でユーザーインターフェイスが表示されます。

**注記：** デフォルト言語が西洋言語で、ユーザーがそれをアジア系言語に切り替えた場合、スキャナーセットアップダイアログボックス（TWAIN ドライバ）の文字列が文字化けすることがあります。この問題を解決するには、システムの **[地域と言語のオプション]** で **[ユニコード対応でないプログラムの言語]** を目的のアジア系言語に変更してください。

**単位** — **米国式**または**メートル法**を選択できます。

**印刷** — 選択したプリンタの **[印刷設定]** ダイアログボックスを表示します。ここでは、スキャンしたドキュメントを印刷できます。ショートカットは、Ctrl+P キーです。

**PDFで保存** — **[PDFで保存]** ダイアログボックスを表示します。ここでは、スキャンした画像を検索可能な/検索不能なPDFとして保存できます。

**ログアウト** — 現在のユーザをログアウトします。

**システムトレイに最小化** — キャプチャプロ ソフトウェアを最小化しますが、ソフトウェアは終了しません。

**終了** — キャプチャプロ ソフトウェアを閉じます。ショートカットは、Alt+F4 キーです。



## ワークステーションを設定

[ファイル] > [ワークステーションセットアップ] を選択すると、[ワークステーションセットアップ] 画面が表示されます。この画面でワークステーション情報を設定したり、使用するスキャナーを選択したりすることができます。

The screenshot shows the 'Workstation Setup' dialog box with the following settings:

- Workstation:** ID: 17, Name: Scanner 17, Quick Start View:
- Scanner:** Scanner family: KODAK Scanner: E1000, Scanner model: E1035, Select... button
- Disk:** Disk warning level: 20 MB
- Batch:** Enable Job level batch numbering: , Display confirmation message before batch output:
- Page:** Display confirmation message during manual deletion if page size exceeds 500 KB:
- Automatic restart limit:** Restart Threshold: 8000 [Number of scanned sheets], Restart Offset: 200 [Number of maximum additional scanned sheets]

1. ご使用のワークステーションの **[ID]** と **[名前]** を入力します。マルチスキャナーの環境では、ID と名前は一意的である必要があります。
2. 熟練ユーザの場合、クイックスタート画面を使用しなくなれば、**クイックスタート表示**チェックボックスのチェックを外します。
3. **[選択]** をクリックします。[スキャナーを選択] ダイアログボックスが表示され、使用可能なスキャナーのリストが示されます。また、ライセンスによって、自動インポートなどその他のソースも示されます。
4. 使用するソースを選択して、**[OK]** をクリックします。
5. 該当するディスク警告レベルをメガバイト (MB) 単位で入力します。ディスク上の空きスペースがこのレベルより少なくなった場合、警告が表示されます。

6. バッチのシーケンス番号をジョブごとに独立して保持する場合は、**[ジョブレベルバッチ番号設定を有効にする]** を選択します。このオプションを選択すると、番号設定がジョブレベルで保持されます。このオプションを選択しないと、番号設定はシステムレベルで保持されます。例：

システムレベル	ジョブレベル
Invoices INV001	Invoices INV001
Claims CLM002	Claims CLM001
Records RCD003	Records RCD001
Invoices INV004	Invoices INV002

7. **手動削除の過程に確認メッセージを表示**をチェックして、キロバイト (KB) 単位でページサイズを入力した場合、指定したページサイズを超えた画像を削除しようとする、警告が表示されます。
8. **自動的再起動の限界に閾値及び補正值の数値**を入力します。これらの限界値に達した場合、キャプチャプロは自動的に再起動できます。

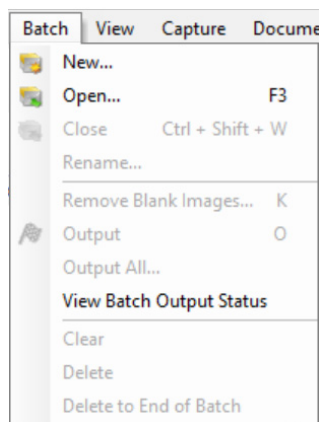
例えば、再起動の閾値 = 5且つその補正值 = 2の場合、現在のスキャンセッションで7ページがスキャンされた後、キャプチャプロは再起動します。

再起動の閾値に達した場合、「スキャンしたシート数が閾値の限界になり、シート数が再起動前の補正值に達するまで引き続きスキャンしますか」という**[確認]**のポップアップダイアログボックスが表示されます。**[はい]**をクリックすれば、キャプチャプロが再起動する前、もっと2ページをスキャンします。

注記：再起動の閾値が8000を超えないことをお勧めします。

9. **[いいえ]**をクリックすれば、キャプチャプロが直ちに再起動します。スキャンが再び始まる時、**自動的再起動の限界オプション**が灰色になります。

## [バッチ] メニュー



[バッチ] メニューには、次のオプションが用意されています。

**新規** — [新規バッチ] ダイアログボックスが表示されます。ここでは新しいバッチを作成できます。

**開く** — [バッチ マネージャ] ダイアログボックスを表示します。ここでは既存のバッチを開くことができます。ショートカットは、F3 キーです。手順については、1ページの「はじめに」を参照してください。

**閉じる** — 現在開いているバッチを閉じます。

**名前の変更** — [バッチ名を変更] ダイアログボックスが表示されます。ここでは現在のバッチ名を変更できます。

**白紙画像を削除** — [白紙画像セットアップを削除] ダイアログボックスが表示されます。ここでは、スキャナーによって生成された白紙の表/裏面の画像を削除できます。ショートカットは、K キーです。手順については、1ページの「はじめに」を参照してください。

**出力** — 現在のバッチに含まれるすべての画像の処理を開始します。ショートカットは、O キーです。手順については、1ページの「はじめに」を参照してください。

注記：グループ A および B のライセンスでは、バッチを出力するには実際的なスキャナーと接続する必要があります。スキャナーと接続せずにバッチを出力する必要がある場合は、インデックス 使用許諾を購入して行うこともできます。

**すべてを出力** — 現在のジョブのすべてのバッチに含まれるすべての画像の処理を開始します。

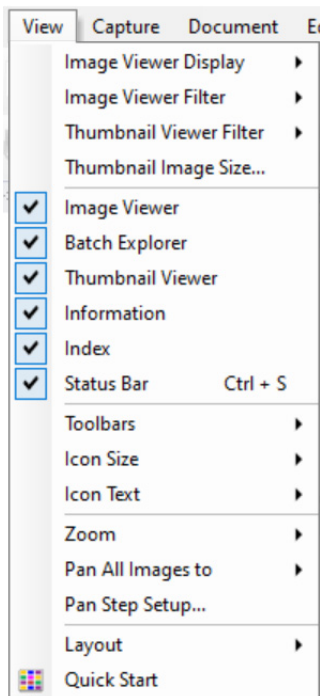
**バッチ出力ステータスを表示** — [キャプチャプロ バッチ処理ステータス] ウィンドウが表示されます。ここでは、バッチ出力の進行状況の情報が示されます。46ページの「[バッチ処理ステータス] ウィンドウ」を参照してください。

**クリア** — バッチのサブディレクトリ構造がそのまま残しながら、バッチ内のすべての画像を削除します。

**削除** — 選択したバッチ内の画像およびサブディレクトリ構造の両方を削除します。手順については、1ページの「はじめに」を参照してください。

**バッチの最後まで削除** — 選択した画像からバッチ内の最後の画像まですべて削除します。

## [表示]メニュー



[表示]メニューには、次のオプションが用意されています。

**イメージビューア表示** — メインウィンドウに表示される画像グリッド数を、[1画像表示]、[2画像表示]、[4画像表示]、[8画像表示] から選択できます。[カスタマイズ] を選択すると、[カスタムレイアウトのセットアップ] ダイアログボックスが表示されます。ここでは別のグリッド数を設定できます。

**イメージビューアフィルタ** — メインウィンドウのイメージビューアに表示される画像のタイプ（1つまたは複数）を指定できます。次の項目は選択できます。[表面]、[裏面]、[白黒]、[グレースケール]、[カラー]。

**サムネイルビューアフィルタ** — メインウィンドウのサムネイルビューアに表示される画像のタイプ（1つまたは複数）を指定できます。次のフィルターを1つまたは複数で選択できます。[表面]、[裏面]、[白黒]、[グレースケール]、[カラー]。

**サムネイル画像サイズ** — [サムネイル画像サイズ設定] ダイアログボックスを表示します。ここではメインウィンドウに表示される各サムネイルのサイズを指定できます。

**イメージビューア、バッチエクスプローラ、サムネイルビューア、情報、インデックス、ステータスバー** — これらのコマンドを使って、メインウィンドウに相応のコンポーネントを表示できます。ステータスバーのショートカットは、Ctrl+S キーです。

**ツールバー** — 次のツールバーを表示/非表示にできます。キャプチャ、バッチ、表示、ドキュメント、ナビゲーション、フラグ、編集、およびインデックス。ツールバーの詳細な情報は、この章の後半で提供します。

**アイコンサイズ** — [小]、[中]、[大] アイコンを指定できます。

**アイコンテキスト** — アイコンのラベル表示を指定できます。表示する場合は、ラベルがアイコンの右か、下か指定できます。

**ズーム** — 表示された画像のサイズを拡大、縮小します。

- **原寸**：画像を原寸で表示します（スキャンされた 1 ピクセルがイメージビューアの1ピクセルに相当）。
- **ズームイン**：[ズーム段階のセットアップ] ダイアログボックスの設定内容に応じて、画像表示を拡大します。
- **ズームアウト**：[ズーム段階のセットアップ] ダイアログボックスの設定内容に応じて、画像表示を縮小します。

- ・ **ズーム倍率指定** : [ズーム段階のセットアップ] ダイアログボックスを表示します。ここでは[ズームイン]、[ズームアウト] コマンドを使用した場合の画像サイズの拡大/縮小率 (**15%、20%、25%、30%、35%、40%**) を指定できます。

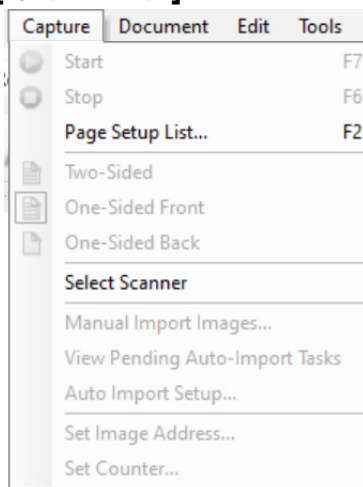
**全ての画像をスクロール** — イメージビューアの枠にあるすべての画像を同時にスクロールできます。画像の[上]、[下]、[左]、[右] にスクロールできます。

**スクロール段階セットアップ** — [スクロール段階のセットアップ] ダイアログボックスを表示します。ここでは[スクロール] コマンドを使用した場合の画像の移動量をピクセル数 (**5、10、15、25、50、100**) で指定できます。

**レイアウト** — [クラシック] と [拡張] レイアウトモード間を切り替えられます。

**クイックスタート** — 通常使われている機能とジョブタイトルのメニューを表示します。

## [キャプチャ] メニュー



[キャプチャ] メニューには、次のオプションが用意されています。

**開始** — スキャナーを有効にして、搬送を開始します。ショートカットは、F7 キーです。

**停止** — 搬送を停止、クリアしてスキャナーを無効にします。ショートカットは、F6 キーです。

**ページセットアップリスト** — [ページセットアップリスト] ダイアログボックスを表示します。ここでは設定されているページセットアップを選択できます。ショートカットは、F2 キーです。

**キャプチャモード** — 次の設定のいずれかを選択することで、バッチのスキャン方法を指定します。

- ・ **両面** : ページの両面をスキャンします。
- ・ **片面 (表面)** : ページの表面をスキャンします。
- ・ **片面 (裏面)** : ページの裏面をスキャンします。

**スキャナー選択** — [ワークステーションセットアップ] ダイアログボックスを表示します。ここでは、使用するスキャナーを選択できます。

**画像の手動インポート** — 作成された画像ファイルを別のソース (設計図スキャナーなど) から、キャプチャプロ ソフトウェアの中で現在表示されているドキュメントにインポートできます。

[**画像の手動インポート**] を選択すると、[開く] ダイアログボックスが表示されます。インポートする画像が含まれているディレクトリに移動し、目的の画像ファイルを選択します。BMP、JPEG、PDF、TIFF、IOCA、MODCA、GIF、CMPおよびPNG画像ファイルはインポートできます。インポート用に選択した画像が、現在表示されているドキュメント内で選択された画像の直前に挿入されます。画像が選択されていない場合、インポートされた画像は現在のドキュメントの最後に追加されます。

シングルページとマルチページの TIFF ファイルの両方がサポートされています。マルチページの TIFF ファイルをインポートする場合、ファイル内のそれぞれの画像は、ドキュメントに個別の画像としてインポートされます。

複数の画像ファイルをインポート用に選択できます。複数の画像ファイルが選択された場合、画像は、それらのファイル名に応じて、アルファベットまたは番号順にインポートされます。

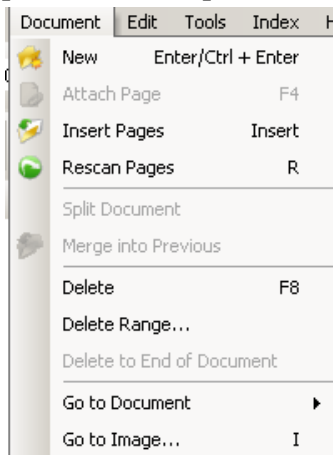
**ペンディング自動インポートタスクを表示** — 自動インポートAPI（アプリケーション プログラミング インターフェース）を使用してキャプチャプロに送ったすべての未完了の自動インポートジョブの表を表示します。

**自動インポートのセットアップ** — 自動インポートの「ウォッチフォルダ」を設定できる [自動インポートのセットアップ] ダイアログボックスを表示します。ウォッチフォルダを指定し、[自動インポートのセットアップ] ダイアログボックスを使用してそれらのフォルダにユーザが分かりやすい名前を割り当てることができます。また、アーカイブやエラー処理用のディレクトリを指定したり、エラーの閾値レベルを割り当てたり、自動インポートバッチの分離規則やタイムアウト間隔を指定したりできます。詳細については、Kodak キャプチャプロ ソフトウェアの『管理者ガイド』を参照してください。

**画像アドレスを設定** — [画像アドレス] ダイアログボックスを表示します。ここではバッチの画像アドレスの設定を変更できます。このオプションは、画像アドレスを設定できるスキャナーを使用する時に有効になります。

**カウンタを設定** — [カウンタを設定] ダイアログボックスを表示します。ここでは次にスキャンされるページに割り当てられる（且つ随意に印刷される）連続カウンタ値を再設定できます。このオプションは、カウンタの機能があるスキャナーを使用時に有効になります。

## [ドキュメント] メニュー



[ドキュメント] メニューには、次のオプションが用意されています。

**新規** — 「最後のドキュメント番号 + 1」のドキュメント番号を持つ新しいドキュメントを作成します。ショートカットは、Ctrl + Enter キーです。

注記： スキャナーによっては、**[新規]** を選択すると、スキャナーが起動しフィーダまたはフラットベッドが稼動します。

**ページを添付** — 追加の画像をスキャンして、ページとして既存のドキュメントに追加できます。ショートカットは、F4 キーです。

**ページを挿入** — スキャンしたドキュメントに追加のページを挿入します。ショートカットは、Insert キーです。

注記： 画像アドレスとパッチ検出が設定されたら、ドキュメントのパッチが検出された場合に、[ページを挿入] によるドキュメントセパレーションが実行できません。

**ページを再スキャン** — スキャナーを起動させ、選択したドキュメントのページを最新のスキャンしたページに代わります。ショートカットは、R キーです。

**ドキュメントを分割** — 選択したページで現在のドキュメントを2つに分割します。

**前のドキュメントに統合** — 現在スキャンしているドキュメントを前のドキュメントに統合します。

**削除** — 現在開いているドキュメントを削除します。ショートカットは、F8 キーです。

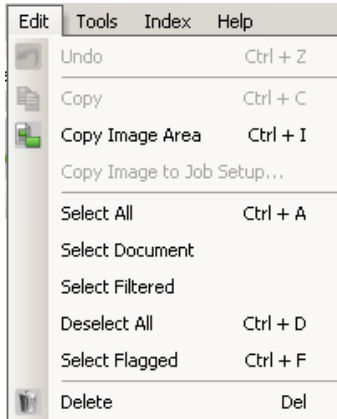
**削除する範囲** — [範囲を指定してドキュメントを削除] ダイアログボックスを表示します。ここではバッチ内の複数ドキュメントを削除できます。

**ドキュメントの最後まで削除** — 選択したドキュメント内の画像から最後まで画像を削除します。このコマンドは、ハードドライブから画像を除去します。この機能は元に戻すことができません。

**ドキュメントを指定** — バッチ内の最初、最後、次、前のドキュメントに移動できます。また、ドキュメント番号を指定して特定のドキュメントに移動することもできます。

**画像を指定** — [画像を指定] ダイアログボックスを表示します。ここでは、現在のドキュメント内の特定の画像に移動できます。ショートカットは、I キーです。

## [編集]メニュー



[編集]メニューには、次のオプションが用意されています。

**元に戻す** — 前回行われた操作を元に戻します。操作を元に戻せない場合は、その旨を知らせるメッセージが表示されます。ショートカットは、Ctrl+Z キーです。

**コピー** — 選択した画像をコピーして別の場所に貼り付けます。ショートカットは、Ctrl+ C キーです。

**画像領域をコピー** — [描画範囲] を使用して画像に領域を作成した後、このオプションを使用すると、指定領域を別の場所にコピーできます。ショートカットは、Ctrl+I キーです。

**ジョブセットアップに画像をコピー** — [ジョブセットアップに画像をコピー] ダイアログボックスを表示します。ここでは、画像を [バーコード] ウィンドウや [OCR] ウィンドウにインポートして、バーコードまたはOCR ゾーンを作成できます。

**すべてを選択** — 現在のバッチ内のすべての画像を選択します。ショートカットは、Ctrl+A キーです。

**ドキュメントを選択** — 現在のドキュメント内のすべての画像を選択します。

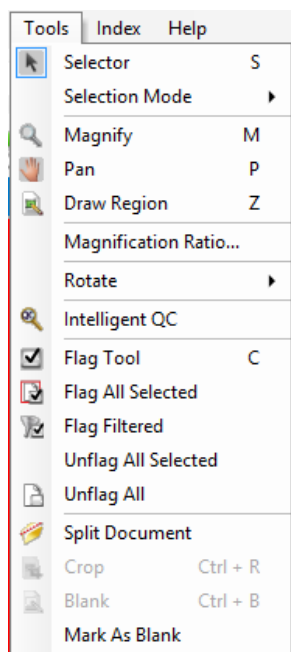
**フィルタを選択** — フィルタパラメータが設定されているすべての画像を選択します。

**選択をすべて解除** — すべての画像の選択を解除します。ショートカットは、Ctrl+D キーです。

**フラグ付きの画像を選択** — フラグが付けられたすべての画像を選択します。ショートカットは、Ctrl+F キーです。

**削除** — 選択した画像をバッチから削除します。ショートカットは、Del キーです。

## [ツール] メニュー



[ツール] メニューには、次のオプションが用意されています。

**セレクタ** — ポインタツールを表示します。これを使って、画像を選択できます。画像は拡大ツールでも選択できます。**拡大**について、下記を参照してください。ショートカットは、S キーです。

**選択モード** — [画像]、[ページ]、[ページの読取面] のいずれかを選択します。

- [画像] を選択した場合、イメージビューアの画像をクリックすると、画像を選択できます。
- [ページ] を選択した場合、画像をクリックするとページ全体、表面と裏面、白黒とカラー / グレーが選択されます。
- 1つの読取面で複数の画像をスキャンしている場合（デュアルストリームスキャン）、[ページの読取面] を選択し、ある表面画像をクリックすると、すべての表面画像が選択されます。ある裏面画像をクリックすると、すべての裏面画像が選択されます。

**拡大** — 画像の一部を拡大します。[拡大] を選択すると、拡大ツールが表示されます。この拡大ツールを置いて任意の領域を拡大できます。（マウスの左ボタンをクリックして保持すると画像は拡大します。マウスの左ボタンをクリックすると画像が選択されます。）ショートカットは、M キーです。

**スクロール** — 画像がイメージビューアの枠より大きな場合、その枠に沿って画像を移動することができます。ショートカットは、P キーです。マウスの左ボタンをクリックすると、画像が選択されます。

**描画範囲** — 画像の一部に四角形の領域を描画できます。この領域では [白抜き] を使って領域内を空白にしたり、[切り取り] を使って（または [編集] > [画像領域をコピー] を使用して）領域のサイズに画像を切り取ったりできます。

**拡大率** — [拡大率セットアップ] ダイアログボックスが表示されます。拡大率として、100%、150%、200%、250%、300%を指定できます。

イメージビューアまたはサムネイルビューアで既存の画像を拡大するには：

1. [ツール] > [拡大] を選択します。
2. 画像をクリックしたまま、画像上で拡大ツールを保持してドラッグします。

**画像を回転** — 選択した画像を時計回り方向に90度、180度、または270度手動で回転します。キャプチャプロ ソフトウェアでは、スキャン時に画像が自動的に回転するか、或いはスキャン後に手動で画像を回転できます。

**インテリジェントQC** — インテリジェントQCツールを起動させます。選択されたすべての画像の確認や処理ができます。画像が選択されていない場合、フラグ付きのすべての画像が利用できます。Intelligent QCツールは、イメージビューアまたはバッチエクスプローラ内で画像を右クリックして、表示されたリストの中から [Intelligent QC] を選択しても起動できます。詳しくは、28ページの「インテリジェントQCツール ダイアログボックス」を参照してください。

**フラグツールオプション** — 再スキャンや調整が必要な画像（例：画質を改善するためにコントラスト値の調整が必要）に対して、フラグを付けます。ショートカットは、C キーです。

- **フラグツール**：ページ、画像、または画像の表面と裏面の両方にフラグを付けることができます。
- **選択したすべての画像にフラグを付ける** — バッチ内で選択されている再スキャンするすべての画像にフラグを付けます。
- **ドキュメントにフラグを付ける**：選択したドキュメント内のすべての画像にフラグを付けます。
- **フィルタされた画像にフラグを付ける**：現在イメージビューアに表示されている画像にフィルターを適用できます。フィルタを適用するビューアを選択したら、**[表面]**、**[裏面]**、**[白黒]**、**[グレースケール]**、**[カラー]** 画像を選択できます。
- **選択した画像をすべてフラグ解除**：現在選択されている画像のフラグ設定を解除します。
- **フラグ設定をすべて解除**：現在のバッチでフラグが付けられているすべての画像のフラグを解除します。

**ドキュメントを分割** — ドキュメントを2つのドキュメントに分割します。

**切り取り** — **[描画範囲]** オプションで作成した領域以外の部分を削除できます。このオプションを選択すると、確認ボックスが表示されます。ショートカットは、Ctrl+R キーです。

**白抜き** — **[描画範囲]** オプションで作成した領域以内の部分を空白にします。このオプションを選択すると、確認ボックスが表示されます。ショートカットは、Ctrl+B キーです。

**白紙としてマーク** — ツールメニューでこのオプションを選択すると、或いは選択した画像を右クリックすると、画像を白紙としてマークできます。白紙としてマークされた画像は、ダークブルーボーダーによって表示されます。すでにマークされた画像にこのオプションを選択すると、画像のマークを解除します。現在選択したページセットアップに「自動削除」下の「白紙画像を保存」オプションが有効な場合に利用できます。

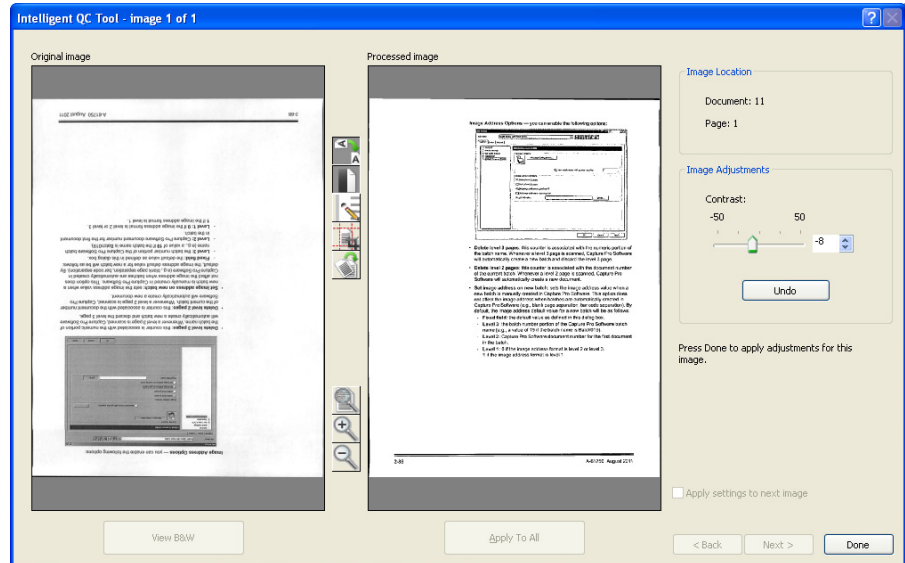
## インテリジェントQCツール ダイアログボックス



編集ツールバーからインテリジェントQCアイコンを選択すると、インテリジェントQC ツールが起動します。選択されたすべての画像の確認や処理ができます。画像が選択されていない場合、フラグ付きのすべての画像が利用できます。Intelligent QCツールは、イメージビューアまたはバッチエクスプローラ内で画像を右クリックして、表示されたリストの中から **[Intelligent QC]** を選択しても起動できます。



インテリジェントQCツールはスキャン中、再スキャン中、または自動インポートによるホットフォルダ内の画像ファイルの監視中には利用できません。



インテリジェントQCツールが起動すると、最初の画像が左の画像パネルに表示されます。左のパネルには、追加の画像処理を適用しない画像の状態が表示されます。

右のパネルには、選択した画像処理を適用した後の画像の状態が表示されます。

画像のパネルの間にある画像処理ツールを1つまたは複数クリックすることで画像を編集できます。特定の画像処理機能を取り消すには、再度ツールをクリックして選択を解除します。

画像処理ツールには画像の外観を調整するための追加の制御が提供されています。例えば、2値化ツールではコントラスト制御が可能です。コントラストを調整すると、背景のノイズを許容可能な範囲におさえながら、非常に薄い文字が解読できるようになります。

**設定を次の画像に適用** — これにチェックを付けておくと、現在選択されている画像処理ツールとツールの設定が、適宜に次の画像に適用されます。**[2値化する]**を選択し、次の画像が白黒画像の場合、2値化は適用されません。ただし、**[パンチ穴除去]**も有効になっている場合は白黒画像に適用されます。

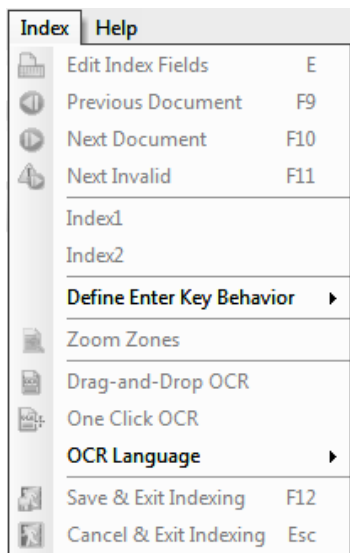
**すべてに適用** — 選択した画像処理ツールを、インテリジェントQC ツールによって選択されたすべての画像に適用します。

**次へ** — 追加の画像を確認できる場合、**[次へ]**ボタンが使用可能です。**[次へ]**をクリックすると、現在の画像が右の画像パネルに表示された状態で保存されます。**[次の画像に適用]**にチェックを付けておくと、選択した画像処理ツールが次の画像に適用されます。処理前の画像は、左の画像パネルに表示され、処理された画像は、右の画像パネルに表示されます。

**戻る** — 前に表示された画像を表示します。ツールの選択がすべて無効になり、**[次の画像に適用]**が選択解除されます。**[次へ]**ボタンが選択された際の画像が表示されます。

**白黒/グレースケール/カラーを表示** — グレースケール画像/カラー画像とその白黒画像が存在する場合（デュアルストリームの場合）、白黒画像が左の画像パネルに表示されます。グレースケール画像/カラー画像を表示するには、**[グレースケール/カラーを表示]**ボタンをクリックします。

## [インデックス] メニュー



[インデックス] メニューには、次のオプションが用意されています。

**インデックス フィールドを編集** — バッチレベルとドキュメントレベルでインデックス フィールドにアクセスできます。ショートカットは、E キーです。

注記： グループ A および B のライセンスでは、インデックス フィールドを編集するには実際のスキャナーと接続する必要があります。スキャナーと接続せずにインデックスを作成する必要がある場合、インデックス 使用許諾を購入して行うこともできます。

**前のドキュメント** — 前のドキュメントのインデックス情報を表示します。ショートカットは、F9 キーです。

**次のドキュメント** — 次のドキュメントのインデックス情報を表示します。ショートカットは、F10 キーです。

**次の無効** — 無効なインデックスがある次のドキュメントのインデックス情報を表示します。ショートカットは、F11 キーです。

**インデックス 1** — バッチのインデックス準備完了を表示します。

**インデックス 2** — ダブル データ入力を使用している際、バッチの2番目のインデックス入力の準備完了を表示します。

注記： ダブル データ入力を使用している際、キャプチャオペレーターとして最初のインデックス値を入力する場合、バッチがインデックス値の2番目の入力が準備完了した後、まず**インデックス 1**を選択し、そして**インデックス 2**を選択します。ダブル データ入力の詳細については、31 ページの「ダブルデータ入力の使用」を参照してください。

**エンターキーの動作を定義** — Enter キーを押した場合のソフトウェアの動作を定義できます。ここでは、**[次のドキュメントへ]**、**[次の無効なドキュメントへ]**、または**[保存してインデックスを終了]**オプションを指定できます。

**[ズームゾーン]** — インデックス フィールドの編集時に、拡大表示する画像の一部に領域を作成できます。このズーム設定は、インデックス フィールドごとに保存されます。このため、各インデックス フィールドにズームゾーンを定義し、フィールドの編集時に画像表示が対象部分に自動的にズームできます。

**[ドラッグアンドドロップ OCR]** — 画像に領域を作成し、インデックスフィールドに値を入力します。領域内で OCR が実行され、現在選択しているインデックスフィールドに値が自動的に入力されます。このツールを選択した後、インデックスデータを取得したい部分を四角形で囲みます。

注記： 言語固有の特殊文字 (« や , など) または MICR コード文字を正しく OCR 処理するには、ドロップダウンリストから対応した言語または MICR フォントを選択します。

**OCRを一度クリック** — 選択したインデックスフィールドを設定するために、単語または数値をクリックできるようになります。複数の単語や数値を追加するには、Ctrl キーを押して追加する単語または数値をクリックします。

**OCR 言語** — OCR 機能に使用する言語を選択します。

**保存してインデックスを終了** — インデックス作成を終了して、バッチの変更内容を保存します。ショートカットは、F12 キーです。

**キャンセルしてインデックスを終了** — インデックス作成を終了しますが、バッチの変更内容は保存しません。ショートカットは、Esc キーです。

## データベース検索の使用

スキャンが実行され、ユーザがインデックスモード ([インデックス] > [インデックス フィールドを編集]) を入力した後、インデックスモード中ドキュメントに移動するたびに、そのドキュメントに対して常に検索が実行されます。

検索に使用されるインデックス フィールドにすでに値が入力されている場合 (たとえば、バーコードやゾーン OCR などから) は、ドキュメントに移動するたびに、ドキュメントの検索が自動的に実行されます。

インデックス フィールドに手動でデータを入力する場合は、ユーザがインデックス フィールドから離れると検索が実行されます。入力後のインデックス フィールドから移動するのに **Tab** キーを使用する場合、確認のためその他のインデックス フィールドへの入力結果が表示されます。**Enter** キーまたはその他のインデックスモード ファンクションキー (F9、F10、F11 など) の1つを使用して別のドキュメントに移動する場合、検索が実行され、その他のインデックス フィールドに値が入力されます。ただし、そのドキュメントはインデックスモードで表示されないため、検索の結果は見えません。

ドラッグアンドドロップ OCR を使用して検索に割り当てたインデックス フィールドに値を入力した場合、ただちに検索が実行され、その他のインデックス フィールドへの入力結果が確認のため表示されます。

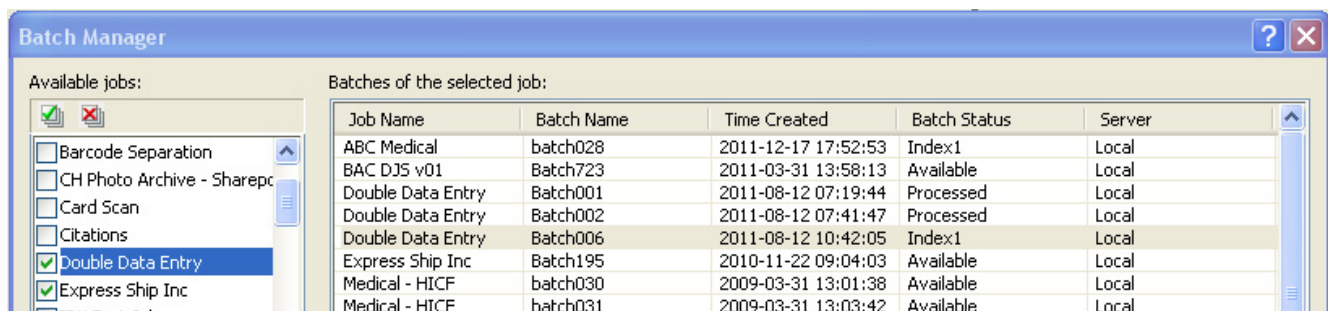
検索に使用する値が一部しか分からない場合、不明の文字の代わりにアスタリスク「\*」を使用します。アスタリスクは最後の文字にする必要があります。例えば、検索の値が電話番号で最初の4桁だけが分かっている場合、値を「557-3\*」として入力します。「557-3xx...」で始まる電話番号はすべてデータベースから検索され、正しい値を選択できます。

検索が2つの値に基づいていて、1つの値だけが分かっている場合、不明な値の代わりにアスタリスクを使用できます。例えば、検索を姓と名に基づいて、アドレスを検索する。名字しかわからない場合、インデックスフィールドの「姓」に名字を入力し、インデックスフィールドの「名」にアスタリスクを入力します。入力された名字に対してレコードが1つだけの場合、名前とアドレスが入力されます。入力された名字に対してレコードが複数ある場合、[複数結果] ダイアログボックスが表示され、正しい結果を選択できます。

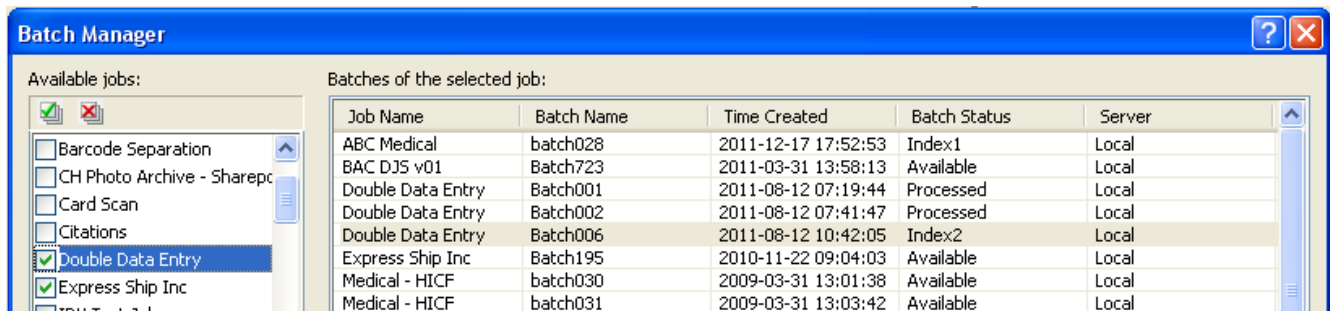
## ダブルデータ入力の使用

ダブル入力向けに設定された1つ以上のバッチまたはドキュメントインデックスフィールドを有するジョブは、その他のジョブと同じようにドキュメントをスキャンするために使用されます。

ドキュメントのスキャンが完了し、バッチのインデックス付けの準備ができたなら、オペレータは[インデックス] > [インデックス 1]の順に選択します。これにより、バッチのステータスが使用可能からインデックス1に変わります。これは、バッチが最初のセットインデックス値の入力に準備ができていないことを意味します。



すべてのドキュメントに対して最初のインデックスにインデックス値を入力したら、最初のインデックスオペレータは[インデックス]>[インデックス 2]の順に選択します。これにより、バッチのステータスがインデックス1からインデックス2に変わります。これは、バッチが2番目のセットのインデックス値の入力に準備ができていることを意味します。



2番目のインデックスオペレーターは、最初のインデックスオペレーターが入力した値を見ません。

2番目のインデックスオペレーターが入力した値が最初の値と一致する場合、操作は不要でありインデックス付けが引き続き行われます。

最初の値と2番目の値が一致しない場合、[入力問題を解決]ダイアログボックスが表示され、オペレーターが正しい入力値を選択します。

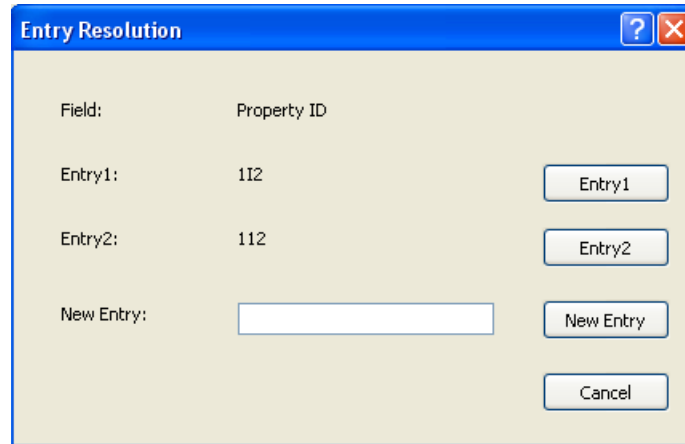
注記：

- スキャンオペレーターも最初のセットのインデックス値を入力する場合、スキャンする際に最初のインデックス操作が完了した後、彼は[インデックス]>[インデックス 1]の順に選択してから、すぐに[インデックス]>[インデックス 2]を選択する必要があります。
- インデックス 1 とインデックス 2 の値の比較においては大文字と小文字を区別します。すなわち、「UPPER CASE」と「Upper Case」は一致するものではないということです。さらに、先行ゼロも意味を持っています。たとえば、123の値は0123のとは一致しません。
- ダブル入力インデックスフィールドでは、値が保存される前、すべての先頭および末尾の空白が削除されます。

たとえば、「 Shipment 」と入力された場合、値は「Shipment」として保存されます。これは、インデックス1が「 Shipment」と入力され、インデックス2が「Shipment 」と入力された場合、値は一致することを意味します。

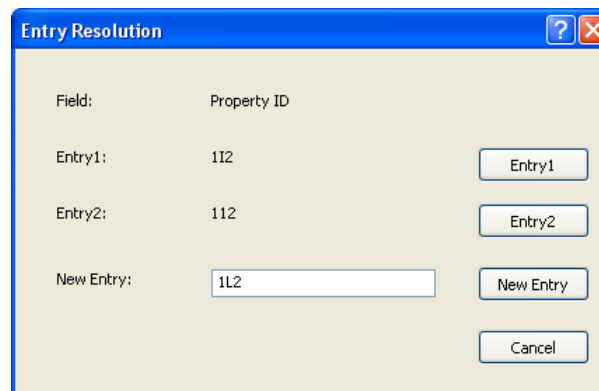
## 入力問題を解決

2 番目のインデックス値が最初のインデックス値と一致しない場合、[入力問題を解決] ダイアログボックスが表示されます。



インデックスオペレーターは次の選択肢があります。

- **入力 1** を選択することで、最初のインデックスオペレーターの入力を選択します。
- **入力 2** を選択することで、2番目のインデックスオペレーターの入力を選択します。



- 両方とも正しくない場合、**[新規入力]** フィールドに新しい値を入力します。
- 選択を行わない場合は、キャンセルして**[入力問題を解決]** ダイアログボックスを閉じます。1 つまたは複数の必須のインデックスフィールドでインデックス値が一致していないことを解決しないと決める場合、バッチの出力を試みる際に次のメッセージが表示されます。**1 つ以上のインデックスフィールドにはダブル入力が必要です。この時点でバッチを出力することはできません。インデックスモードを入力しますか？**

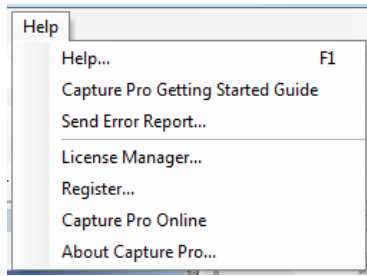
どの **[ダブル入力]** フィールドも必須ではない場合、出力に**[入力問題を解決]** ダイアログボックスが表示されます。入力が一致していないすべての **[ダブル入力]** インデックスフィールドは、出力前に不一致を解決する必要があります。

注記：

- **[ダブル入力]** フィールドが必須のフィールドではない場合、1 つまたは両方のインデック入力空欄のままにしておくこともできます。これにより、**[入力問題を解決]** ダイアログボックスが表示されず、出力時にエラーが発生しません。

- [ダブル入力] に一致しない値が入力された場合、オペレーターは出力前に [入力問題を解決] ダイアログボックスで選択を行う必要があります。
- データベース検索を実行する、またはデータベース検索で検証や追加をするには、[ダブル入力] に有効なインデックスフィールドは使用されない場合があります。

## [ヘルプ] メニュー



[ヘルプ] メニューには、次のオプションが用意されています。

**ヘルプ** — キャプチャプロ ソフトウェアのオンライン ヘルプを表示します。ショートカットは、F1です。

**キャプチャプロ スタートガイド** — キャプチャプロ ソフトウェアを使用し、素早くご利用を開始するための簡単な手順を説明するガイドを表示します。

**エラーレポートを送信** — [エラーレポートを送信] ダイアログボックスを表示します。ここでは、問題を説明するメッセージを入力し、Kodak Alarisに送信できます。

**ライセンス マネージャ** — ライセンス マネージャにアクセスします。これを使用すると、キャプチャプロ ソフトウェアを運行するワークステーションにインターネット アクセスがない場合に、最も簡単な方法でライセンスを取得できます。

**登録** — キャプチャプロ ソフトウェアを登録できます。

**キャプチャプロ オンライン** — キャプチャプロ ソフトウェアのオンライン ヘルプを表示します。

**キャプチャプロについて** — [キャプチャプロ ソフトウェアについて] ダイアログボックスを表示します。ここでは、ソフトウェアの現在のバージョンに関する情報を確認できます。このボックスでは、次の情報が表示されます。

- 著作権
- ファイル拡張子
- ファイルパス
- ソフトウェアのシリアル番号
- ソフトウェアのバージョン番号

また、このダイアログボックスでは、[ファイル情報] ウィンドウを開く [システム情報] にアクセスできます。このウィンドウは、キャプチャプロ ソフトウェアに含まれる個々のファイルに関する情報を提供します。[ファイル情報] ウィンドウは読み取りだけです。






- ファイル名
- ファイルサイズ
- 作成日
- バージョン番号
- 説明

注記： [ファイル情報] ウィンドウを閉じるには、右上にある [X] をクリックします。

## ツールバー





### キャプチャツールバー

キャプチャツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>開始</b> — スキャナーで画像のスキャンを開始します。
	<b>スキャンを停止</b> — 画像のスキャンを停止します。
<b>ページセットアップ名</b> — ドロップダウンリストからスキャンしているジョブに最適なページセットアップ名を選択します。 	
	<b>ページセットアップ</b> — [ページセットアップ] ダイアログボックスを表示します。ここでは、スキャンパラメータを設定できます。
	<b>スキャンする面</b> — [両面]、[片面 — 表面]、[片面 — 裏面] が選択できます。 注記：Kodak 以外の一部のスキャナーでは、このオプションを使用できない場合があります。





### バッチツールバー

バッチツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>新規バッチ</b> — [新規バッチ] ダイアログボックスを表示します。ここでは、新しいバッチを作成できます。
	<b>バッチを開く</b> — [バッチマネージャ] ダイアログボックスを表示します。ここでは、既存のバッチを開くことができます。
	<b>バッチを閉じる</b> — 現在開いているバッチを閉じます。
	<b>バッチを出力</b> — 現在のバッチ内のすべての画像を出力します。












### ドキュメントツールバー

ドキュメントツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>新規ドキュメント</b> — 新規ドキュメントを追加できます。
	<b>ページを挿入</b> — スキャンしたドキュメントに追加のページを挿入します。ページ内の最初の画像をハイライト表示すると、このアイコンが有効になります。スキャナーに追加のページをセットしてから、このアイコンをクリックします。
	<b>ページを再スキャン</b> — ドキュメントの選択した部分を再スキャンします。再スキャンするページをハイライト表示してから原稿をスキャナーにセットして、このアイコンをクリックします。
	<b>ドキュメントを分割</b> — 選択したページでドキュメントを2つに分割できます。ドキュメントを分割するには、[ドキュメントを分割] をクリックします。イメージビューアでは、新しいドキュメントに分割するページをクリックします。





## 表示ツールバー

表示ツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>セレクト</b> — ポインタツールが表示されます。これを使って画像を選択できます。
  	<b>選択モード</b> — <b>[画像]</b> 、 <b>[ページ]</b> 、 <b>[ページの読取面]</b> のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[画像]</b> を選択した場合、イメージビューアの画像をクリックすると、画像を選択できます。</li> <li>• <b>[ページ]</b> を選択した場合、画像をクリックするとページ全体、表面と裏面、白黒とカラー/グレーが選択されます。</li> <li>• 1つの読取面で複数の画像をスキャンしている場合（デュアルストリームスキャン）、<b>[ページの読取面]</b> を選択し、ある表面画像をクリックすると、すべての表面画像が選択されます。ある裏面画像をクリックすると、すべての裏面画像が選択されます。</li> </ul>
	<b>拡大</b> — 画像の一部を拡大できます。 <b>[拡大]</b> を選択すると、拡大ツールが表示されます。この拡大ツールを置いて任意の領域を拡大できます。画像にマウスをクリックしたままにする必要があります。）
	<b>スクロール</b> — 画像がウィンドウより大きな場合に、その枠に沿って画像を移動することができます。
 	<b>イメージビューア表示</b> — 下向き矢印を使って、 <b>[1画像表示]</b> 、 <b>[2画像表示]</b> 、 <b>[4画像表示]</b> 、 <b>[8画像表示]</b> を選択したり、レイアウトを <b>[カスタマイズ]</b> したりできます。 <b>[カスタマイズ]</b> を選択すると、 <b>[カスタムレイアウトのセットアップ]</b> ダイアログボックスが表示され、イメージビューアに表示する行数と列数を入力できます。
	<b>ズームイン</b> — イメージビューア内のすべての画像を拡大表示します。
	<b>ズームアウト</b> — イメージビューア内のすべての画像を縮小表示します。
	<b>クイックスタート</b> — クイックスタート画面を開きます。ここでは、スキャンジョブを起動させるジョブタイルが表示されます。

## ナビゲーションツールバー





ナビゲーションツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>最初のドキュメント</b> — イメージビューアにバッチの最初のドキュメントを表示します。
	<b>最後のドキュメント</b> — イメージビューアにバッチの最終ドキュメントを表示します。
	<b>前のドキュメント</b> — イメージビューアにバッチの1つ前のドキュメントを表示します。
	<b>次のドキュメント</b> — イメージビューアにバッチの次のドキュメントを表示します。















## フラグツールバー

フラグ ツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>フラグツール</b> — ページまたは画像にフラグを付けることができます。たとえば、再スキャンが必要な画像を永続的に特定する場合などに使用します。
	<b>選択したすべての画像にフラグを付ける</b> — バッチ内で選択されているすべての画像にフラグを付けます。
	<b>フィルタされた画像にフラグを付ける</b> — 現在イメージビューアまたはサムネイルビューアに表示されている画像にフラグを付けます。
	<b>フラグ設定をすべて解除</b> — 現在のバッチでフラグが付けられているすべての画像のフラグを解除します。










## 編集ツールバー

編集ツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>インデックス フィールドを編集</b> — バッチレベルとドキュメントレベルでインデックス フィールドにアクセスできます。
	<b>90 度画像を回転</b> — 選択した画像を時計回り方向に 90 度回転します。
	<b>180 度画像を回転</b> — 選択した画像を時計回り方向に 180 度回転します。
	<b>270 度画像を回転</b> — 選択した画像を時計回り方向に 270 度回転します。
	<b>インテリジェントQC</b> — インテリジェントQCツールを起動させます。選択されたすべての画像の確認や処理ができます。画像が選択されていない場合、フラグ付きのすべての画像が利用できません。Intelligent QCツールは、イメージビューアまたはバッチエクスプローラ内で画像を右クリックして、表示されたリストの中から [Intelligent QC] を選択しても起動できます。
	<b>描画範囲</b> — 画像の一部に四角形の領域を描画できます。この領域では [白抜き] を使って領域内を空白にしたり、[切り取り] を使って領域のサイズに画像を切り取ったりできます。
	<b>切り取り</b> — [描画範囲] オプションで作成した領域以外の部分を削除できます。
	<b>白抜き</b> — [描画範囲] オプションで作成した領域以内の部分を空白にします。このアイコンを選択すると、確認ボックスが表示されます。
	<b>印刷</b> — d [印刷設定] ダイアログボックスを表示します。ここでは、完全なドキュメントまたはドキュメント内の特定画像を印刷できます。
	<b>PDFで保存</b> — [PDFで保存] ダイアログボックスを表示します。ここでは、完全なドキュメントまたは個別の画像を検索可能な/検索不能なPDFとして保存できます。
	<b>選択した画像を削除</b> — ドキュメント内で選択した画像（1枚または複数）を削除します。たとえば、両面ページから白紙画像を削除できます。選択した画像を削除した後、残った画像の番号は振り直されます。このアイコンを選択すると、確認ボックスが表示されます。
	<b>元に戻す</b> — 前回実行した画像（1枚または複数）の切り取り、白抜き、回転を元に戻します。削除コマンドを使用した場合は元に戻すことはできません。






## インデックスツールバー

インデックスツールバーには、次のコマンドがあります。

	<b>前のドキュメント</b> — 画像を含む1つ前のドキュメント番号に移動します。
	<b>次のドキュメント</b> — 画像を含む次のドキュメント番号に移動します。
	<b>次の無効</b> — 無効なインデックスがある次のドキュメントに移動します。
	<b>ズームゾーン</b> — 読みにくい特殊な言語固有文字をはっきりと表示するために、現在のフィールドで取得したインデックスデータの表示を拡大します。
	<b>ドラッグアンドドロップ OCR</b> — インデックス値を入力せずに、OCR文字認識機能でインデックスをドラッグアンドドロップできます。このツールを選択した後、インデックスデータを取得したい部分を四角形で囲みます。
	選択したインデックスフィールドを設定するために、このアイコンで単語または数値をクリックできます。複数の単語や数値を追加するには、Ctrl キーを押して追加する単語または数値をクリックします。
	<b>OCR 言語</b> — ドロップダウンリストから OCR の言語を選択します。
	<b>保存してインデックスを終了</b> — 現在のバッチの変更内容を保存して、[インデックス] ウィンドウを閉じます。
	<b>キャンセルしてインデックスを終了</b> — 変更内容を保存しないで、[インデックス] ウィンドウを閉じます。

## スキャナー調整ツールバー

スキャナー調整ツールバーでは、キャプチャプロ ソフトウェアのメインウィンドウから、次のスキャンオプションを直接変更できます。

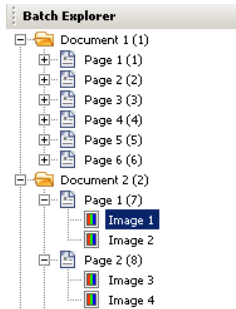
 <b>表面</b>	 <b>裏面</b>	<b>閾値</b> — 画像背景の透明度と不透明度を制御します。有効値は0 ~ 255です。表面と裏面ごとに異なる閾値を設定できます。
 <b>表面</b>	 <b>裏面</b>	<b>コントラスト</b> — ドキュメントに含まれるエッジを強調します。コントラストレベルが高くなるほど、画像のエッジがもっと強調されます。有効値はスキャナーモデルによって異なり、0 ~ 100、または -50 ~ 50 です。表面と裏面ごとに異なるコントラスト値を設定できます。
		<b>iThresholding</b> — 選択すると、スキャナーがスキャンしたページごとに最適な閾値を自動設定し、スキャン処理の総合的な生産性と画質を向上させます。選択すると、表面と裏面の画像の閾値設定がグレーアウトされ、値が変更できなくなります。

注記：

- スキャナー調整ツールバーは、Kodak のスキャナーでのみ使用できます。
- 設定の変更は一時的なもので、スキャンに使われている現在選択中のページセットアップの設定値は変更されません。
- ツールバーのある設定を変更すると、その設定が黄色でハイライト表示され、変更されたことを表します。

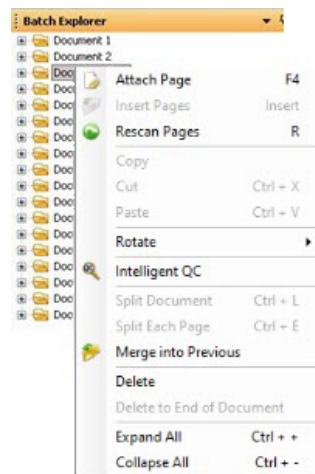
- ・ スキャンに使用するページセットアップを変更すると、または同じページセットアップを再度選択すると、スキャナー調整ツールバーの設定がページセットアップの設定値に再設定されます。

## バッチエクスプローラ



バッチエクスプローラは、現在イメージビューアで開かれているバッチのすべてのドキュメントフォルダ、ページファイル、画像ファイルを表示します。拡張レイアウトの利用時、メインウィンドウの左側にバッチエクスプローラが自動的に表示されます。

- ・ バッチエクスプローラの画像ファイルをクリックすると、イメージビューアにその画像が表示されます。
- ・ 画像ファイル、ページファイル、ドキュメントフォルダをドラッグしてバッチエクスプローラ内の別の場所に移動できます。
- ・ 画像ファイル、ページファイル、ドキュメントフォルダを右クリックすると、もっと多くのオプションが提供される状況依存メニューが表示されます。



- ・ **[Ctrl]** キーと同時に次のキーを押すと、
  - [+]** — すべてのノードを展開します
  - [-]** — すべてのノードを折り畳みます
  - [L]** — 選択したページから新規ドキュメントを作成します
  - [X]** — 選択したページまたは画像を切り取ります
  - [V]** — 切り取ったページまたは画像を選択したページまたは画像の前に貼り付けます
    - **[Ctrl + V]**を選択した際にページが切り取られ、画像が選択された場合、選択した画像を含むページの**前**にページが挿入されます。
    - **[Ctrl + V]**を選択した際に**画像**が切り取られ、ページが選択された場合、選択したページの最初の画像の**前**に画像が挿入されます。

## イメージビューア

イメージビューアは、画像が表示される領域です。同時に1画像、2画像、4画像、または8画像を表示したり、イメージビューアのレイアウトをカスタマイズしたりできます。

タイトルバーには、イメージビューアに表示された画像のバッチ名とドキュメント番号が表示されます。

画像を移動するには：

1. 画像を選択します。
2. 画像を目的の場所にドラッグします。

画像を削除するには：

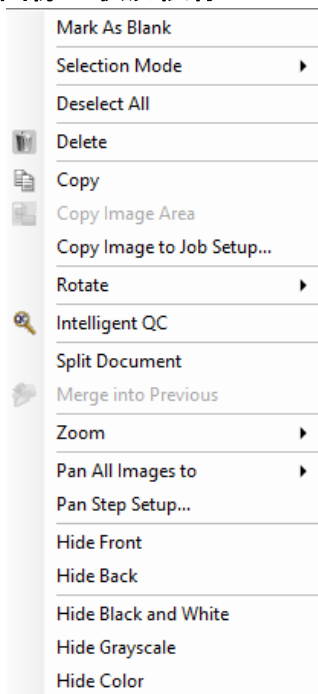
1. 画像を選択します。
2. **[編集] > [削除]** を選択します。ドキュメントから画像が削除されます。

表示する画像数を変更するには：

1. **[表示] > [イメージビューア表示]** を選択します。
2. **[1]、[2]、[4]、[8]**、または **[カスタマイズ]** を選択します。イメージビューアは選択したレイアウトを表示します。

注記： **[カスタマイズ]** を選択すると、**[カスタムレイアウトのセットアップ]** ダイアログボックスが表示されます。ここでは、表示する列数と行数を指定できます。

### 画像の状況依存メニュー



イメージビューアの画像を右クリックすると、メニューに以下のオプションが表示されます。

**白紙としてマーク** — イメージビューアでこのオプションを選択すると、或いは選択した画像を右クリックすると、画像を白紙としてマークできます。現在選択したページセットアップに「自動削除」下の「白紙画像を保存」オプションが有効な場合に利用できます。画像を選択すると、その画像はイメージビューアで太字のダークブルーボーダーによってハイライト表示されます。

**選択モード** — **[画像]**、**[ページ]**、**[ページの読取面]** のいずれかを選択します。

- **[画像]** を選択した場合、イメージビューアの画像をクリックすると、画像を選択できます。
- **[ページ]** を選択した場合、画像をクリックするとページ全体、表面と裏面、白黒とカラー/グレーが選択されます。
- 1つの読取面で複数の画像をスキャンしている場合（デュアルストリームスキャン）、**[ページの読取面]** を選択し、ある表面画像をクリックすると、すべての表面画像が選択されます。ある裏面画像をクリックすると、すべての裏面画像が選択されます。

**選択をすべて解除** — イメージビューアにハイライト表示されている画像の選択を解除します。

**削除** — ユーザーの確認後、ハイライト表示されている画像を削除します。

**コピー** — 選択した画像をコピーして別の場所に貼り付けます。

**画像領域をコピー** — **[描画範囲]** を使用して、画像に領域を作成した後、このオプションを使用すると、指定領域を別の場所にコピーできます。

**ジョブセットアップに画像をコピー** — [ジョブセットアップに画像をコピー] ダイアログボックスを表示します。ここでは、画像を [バーコード] ウィンドウ や [OCR] ウィンドウ にインポートして、バーコードまたはOCR ゾーンを作成できます。

**回転** — 選択した画像を時計回り方向に 90度、180度、270 度回転します。

**インテリジェントQC** — インテリジェントQCツールを起動させます。選択されたすべての画像の確認や処理ができます。画像が選択されていない場合、フラグ付きのすべての画像が利用できます。

**ドキュメントを分割** — 手動でドキュメントの分割を実行します。これにより、選択したドキュメントが2つのドキュメントに分割されます。

**前のドキュメントに統合** — 選択したドキュメントを前のドキュメントに付加して1つのドキュメントにします。

**ズーム** — 表示された画像のサイズを拡大、縮小します。

- **画像をウィンドウにフィットさせる** : 元のサイズに関係なく、各画像をイメージビューアの各ウィンドウのサイズに合わせて表示します。
- **原寸** : 画像を物理的な実際のサイズに拡大して表示します。
- **ズームイン** : [ズーム段階の設定] で設定された倍率に基づいて、画像を拡大します。
- **ズームアウト** : [ズーム段階の設定] で設定された倍率に基づいて、画像を縮小します。
- **ズーム倍率指定** : [ズーム段階の設定] ダイアログボックスを表示します。ここでは、15~40%の範囲を5%単位で指定できます。

**すべての画像をスクロール** — すべての画像を **トップ**、**ボトム**、**左**、**右** または **同じ位置** に移動します。

**スクロール段階セットアップ** — [スクロール段階のセットアップ] ダイアログボックスを表示します。ここではスクロールツールのピクセル設定を変更できます。

**表面を非表示** — バッチ内のすべての表面画像を非表示にします。

**裏面を非表示** — バッチ内のすべての裏面画像を非表示にします。

**白黒を非表示** — バッチ内のすべての白黒画像を非表示にします。

**グレースケールを非表示** — バッチ内のすべてのグレースケール画像を非表示にします。

**カラーを非表示** — バッチ内のすべてのカラー画像を非表示にします。

画像を右クリックする前に**フラグ**、**拡大**、**描画範囲**ツールを選択した場合、メニューに追加のオプションが表示されます。

- フラグツールが有効な場合は、フラグオプションが表示されます。
  - **選択したすべての画像にフラグを付ける** — バッチ内のすべての選択した画像に緑色のチェックマークを付けます。複数の画像を選択するには、イメージビューアで Ctrl キーを押しながら画像をクリックします。
  - **すべての画像にフラグを付ける** — バッチ内のすべての画像に緑色のチェックマークを付けます。
  - **フラグ設定をすべて解除** — バッチ内のすべての画像の緑色のチェックマークを解除します。

- **フィルタされた画像にフラグを付ける** — フィルタされた（表示された）すべての画像に緑色のチェックマークを付けます。
- **拡大ツールが有効な場合は、拡大率オプションが表示されます。** このオプションを選択すると、[拡大率のセットアップ] ダイアログボックスが表示されます。ここでは、拡大ツール使用時に表示する画像のサイズを指定できます。
- **描画範囲ツールが有効な場合は、そのツールに関連するオプションが表示されます。**
  - **範囲をドキュメントに適用** — ドキュメント内のすべての画像に選択した領域を置きます。
  - **選択した画像に範囲を適用** — 選択した画像にのみ選択した領域を置きます。
  - **切り取り** — [描画範囲] オプションで作成した領域以外の部分を削除できます。このオプションを選択すると、確認ボックスが表示されます。
  - **白抜き** — [描画範囲] オプションで作成した領域以内の部分を空白にします。このオプションを選択すると、確認ボックスが表示されます。

## サムネイルビューア

サムネイルビューアには、現在開いているバッチ内のすべての画像のサムネイルバージョンが表示されます。

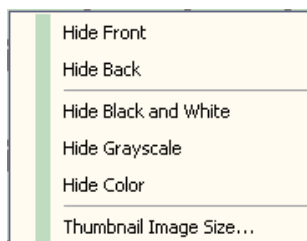
イメージビューアに画像を選択するには：

- サムネイルビューアにサムネイルをクリックします。

サムネイルを拡大するには：

- 画像を左クリックしたまま保持します。クリックしたままの状態、拡大された領域を移動できます。

## サムネイルビューアの状況依存メニュー



サムネイル画像を右クリックすると、次のメニューオプションが表示されます。

**表面または裏面** — すべての表面または裏面のサムネイルを非表示にします。

**白黒、グレースケール、またはカラー** — 白黒、グレースケール、またはカラーのすべてのサムネイルを非表示にします。

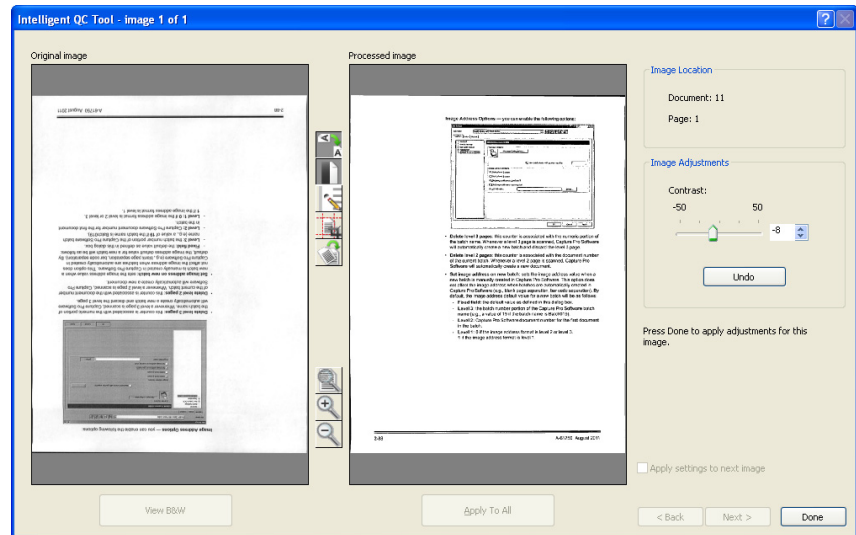
**サムネイル画像サイズ** — [サムネイル画像サイズの設定]ダイアログボックスを表示します。ここでは、画像サイズを変更できます。

## インテリジェントQCツール

編集ツールバーからインテリジェントQCツールを選択すると、インテリジェントQCツールが起動します。選択されたすべての画像の確認や処理ができます。画像が選択されていない場合、フラグ付きのすべての画像が利用できます。インテリジェントQCツールは、イメージビューアまたはバッチエクスプローラ内で画像を右クリックして表示されたリストの中からインテリジェントQCを選択しても起動できます。

注記： インテリジェントQCツールはスキャン中、再スキャン中、または自動インポートによるホットフォルダ内の画像ファイルの監視中には利用できません。

インテリジェントQCツールを選択すると、最初の画像が左の画像パネルに表示されます。左のパネルには、追加の画像処理を適用しない画像の状態が表示されます。右のパネルには、画像処理を適用した後の画像の状態が表示されます。



パネルの間にある画像処理ツールを1つまたは複数クリックすることで画像を編集できます。画像処理機能を取り消すには、再度ツールをクリックして選択を解除します。

**設定を次の画像に適用** — これにチェックを付けておくと、現在選択されている画像処理ツールとツールの設定が、適宜に次の画像に適用されます。**[2値化する]**を選択し、次の画像が白黒画像の場合、2値化は適用されません。ただし、**[パンチ穴除去]**も有効になっている場合は白黒画像に適用されます。

**すべてに適用** — 選択した画像処理ツールを、インテリジェントQC ツールによって選択されたすべての画像に適用します。

**次へ** — 追加の画像を確認できる場合、使用可能です。**[次へ]**をクリックすると、現在の画像が**[処理後の画像]**パネルに表示された状態で保存されます。**[次の画像に適用]**チェックボックスにチェックを付けておくと、選択した画像処理ツールが次の画像に適用されます。処理前の画像は、**[元の画像]**パネルに表示され、処理された画像は、**[処理後の画像]**パネルに表示されます。

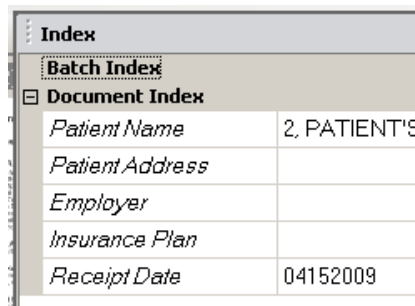
**戻る** — 前に表示された画像を表示します。ツールの選択がすべて無効になり、**[次の画像に適用]**チェックボックスが選択解除されます。**[次へ]**ボタンが選択された際の画像が表示されます。

**白黒/グレースケール/カラーを表示** — グレースケール画像/カラー画像とその白黒画像が存在する場合（デュアルストリームの場合）、白黒画像が**[元の画像]**パネルに表示されます。グレースケール画像/カラー画像を表示するには、**[グレースケール/カラーを表示]**ボタンをクリックします。

## インデックスウィンドウ

---

イメージビューアの右側にある [インデックス] ウィンドウには、ユーザの便宜を図るために、定義されたインデックスを持つ各バッチおよび各ドキュメントのインデックスデータが表示されます。ウィンドウは、画面の右側で折込みタブとして利用できます。インデックスデータは、一時的に表示する（タブ位置に重ねる）か、或いはキャプチャプロ ソフトウェアですべての画像をスキャンしている時に、インデックスフィールドを継続的に表示するように、オプションとしてインデックスデータを [画像表示] ウィンドウに固定することもできます。この機能を利用して、特定のドキュメントまたはバッチ全体のインデックスフィールドを表示できます。各インデックスフィールドの内容について必要な修正を実行するには、インデックスメニューから **インデックスフィールドを編集** を選択して、インデックスモードに入ります。



Index	
Batch Index	
Document Index	
Patient Name	2. PATIENT'S
Patient Address	
Employer	
Insurance Plan	
Receipt Date	04152009

[インデックス] ウィンドウを表示するには：

- イメージビューアの右側にある [インデックス] ウィンドウ タブをクリックします。ウィンドウを表示したままにするには、ウィンドウの右上のピンアイコンをクリックします。

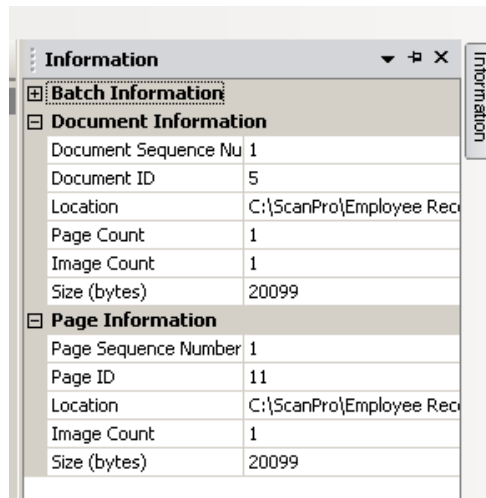
[インデックス] ウィンドウを閉じるには：

- ピンアイコンをダブル クリックするか、或いは [インデックス] ウィンドウ以外の場所をクリックします。ウィンドウをピンで固定している場合は、ピンアイコンを1回クリックするとウィンドウを閉じます。



## 情報ウィンドウ

イメージビューアの右側にある情報ウィンドウには、現在開いているバッチの統計情報が表示されます。情報ウィンドウを表示したまま固定して、キャプチャプロ ソフトウェアでスキャンしている各画像の統計情報を継続的に表示できます。



このウィンドウには、バッチ、ドキュメント、ページ、画像の情報を表示できます。画像情報には、画像シーケンス番号、ページ ID、ディスク上の場所、圧縮、解像度、画像サイズ、印字文字列などが含まれます。

情報ウィンドウを表示するには：

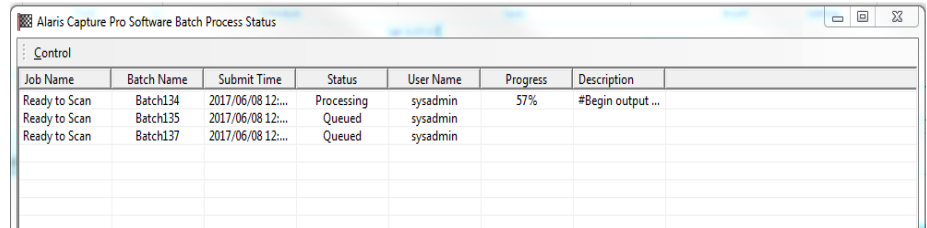
1. バッチエクスプローラで画像、ページ、ドキュメントをハイライト表示するか、或いはイメージビューアで画像をハイライト表示します。
2. イメージビューアの右側にある情報ウィンドウをクリックします。ウィンドウを表示したままにするには、ウィンドウの右上のピンアイコンをクリックします。

情報ウィンドウを閉じるには：

- ピンアイコンをダブルクリックするか、或いは情報ウィンドウ以外の場所をクリックします。ウィンドウをピンで固定している場合は、ピンアイコンを1回クリックするとウィンドウを閉じます。

## [バッチ処理ステータス] ウィンドウ

[キャプチャプロ バッチ処理ステータス] ウィンドウには、キャプチャプロ ソフトウェアから出力するバッチに関する情報が表示されます。



Job Name	Batch Name	Submit Time	Status	User Name	Progress	Description
Ready to Scan	Batch134	2017/06/08 12:...	Processing	sysadmin	57%	#Begin output ...
Ready to Scan	Batch135	2017/06/08 12:...	Queued	sysadmin		
Ready to Scan	Batch137	2017/06/08 12:...	Queued	sysadmin		

[制御] をクリックすると、[制御] メニューが表示されます。

- **ログを表示** — [メモ帳] ウィンドウを開き、出力ログを表示します。
- **ログをクリア** — 出力ログのすべての入力を削除します。選択を確認するため、確認ボックスが表示されます。
- **キャプチャプロ ソフトウェアについて** — [キャプチャプロ ソフトウェアについて] ダイアログボックスを表示します。ここには、キャプチャプロ ソフトウェアのすべてのファイルを表示するためのコマンドが含まれます。
- **終了** — [終了オプション] ダイアログボックスを表示します。ここには、キャプチャプロ ソフトウェアを終了するためのコマンドが含まれます。出力処理は、バックグラウンドでキャプチャプロ ソフトウェアから独立して実行されます。キャプチャプロ ソフトウェアを閉じると、出力処理を継続するか、停止するかを確認するように促されます。

[キャプチャプロ バッチ処理ステータス] ウィンドウでは、出力後または出力中の各バッチについて下記の情報が表示されます：**ジョブ名、バッチ名、送信時刻、ステータス、ユーザー名、進行状況、および説明。**

- バッチ名の入力グリッドを右クリックして、**すべてのエラーをクリア**または**選択したエラーをクリア**を選択します。

[バッチ処理ステータス] ウィンドウを表示するには：

- [バッチ] > [バッチ出力ステータスを表示] を選択します。

## ステータスバー

キャプチャプロ ソフトウェアのステータスバーには、現在のバッチ、現在のドキュメント、ディスク上の空きスペース、イメージビューアフィルタのオン/オフについての情報が表示されます。ステータスバーは画面の下部にあり、[表示] メニューの [ステータスバー] のチェック/アンチェック、またはショートカット [Ctrl + S] を押すことでトグル オン/オフできます。

Disk: 394437 MB free    Batch: 5 documents; 9 pages; 18 images    Document: 4 images    Filters: Off

ステータスバーはディスク上の空きスペース (Mバイト)、ドキュメント数、現在開いているバッチのページ数と画像数、[イメージビューア] ウィンドウに表示されているドキュメント上の画像数、画像フィルタの状態を表示します。


画像フィルタがオンの場合、[表示] > [イメージビューアフィルタ] メニュー項目を選択すると、「画像裏面」や「グレースケール画像」は表示されません。

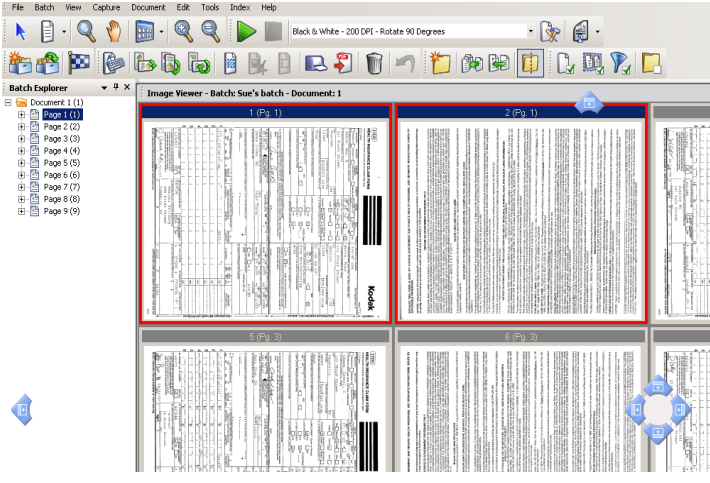
## メインウィンドウのインターフェイスの変更

ページがスキャンされると、表示されたすべてのビューア（イメージビューア、サムネイルビューアおよび/またはバッチエクスプローラ）に画像が表示されます。キャプチャプロ ソフトウェアには、**クラシック**および**拡張**という2つのデフォルト画面レイアウトがあります。

キャプチャプロ ソフトウェアでは、好みに合うようにツールバー、ビューアなどを移動させ、画面上の不要なコンポーネントを非表示にすることでメインウィンドウのレイアウトをカスタマイズすることができます。

これらのオプションは、イメージビューア、バッチエクスプローラ、サムネイルビューア、情報ウィンドウ、およびインデックスウィンドウに適用されます。これらのアイコンは、各ウィンドウの右上にあります。

✕	ウィンドウを閉じます。ウィンドウを再度開くには、[表示] メニューから表示するウィンドウを選択します。
🔒	ウィンドウを開いた状態で固定します。ウィンドウを自動的に非表示にするには、ピンアイコンをクリックします。
▼	ウィンドウを自動的に非表示にし、タイトルバーのみを表示します。ウィンドウを表示するには、カーソルをタイトルバーの上に移動します。
 In	<b>アンカー アイコン</b> (四つの縦ドットで表示)はウィンドウの左上にあります。アンカーアイコンを選択し、マウスボタンをクリックしたままにすると、画像アンカーがリリースされ、青色の位置矢印が表示されます。マウスボタンをクリックしたまま、ウィンドウを別の場所に移動できます。ウィンドウを目的の位置に移動したら、マウスボタンをリリースします。

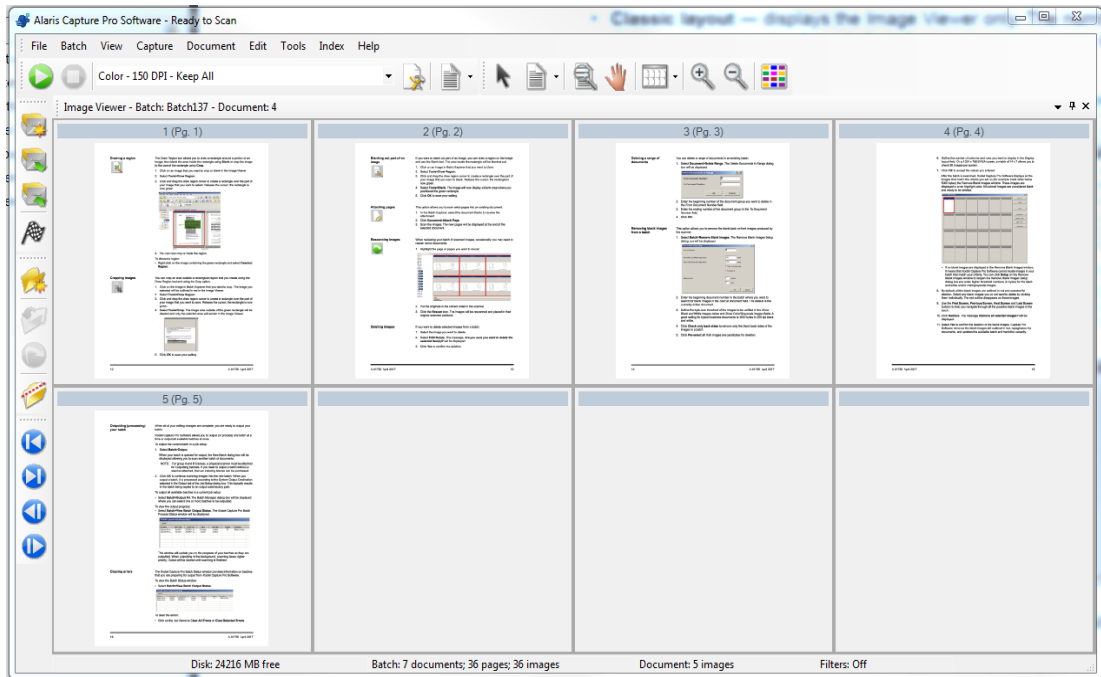


ビューア内の画像のサイズは必要に応じて設定できます。イメージビューアは特定サイズに設定できます。また、デフォルトで**最適なフィット表示**を保ち、画面に最適なサイズで画像を表示できます。

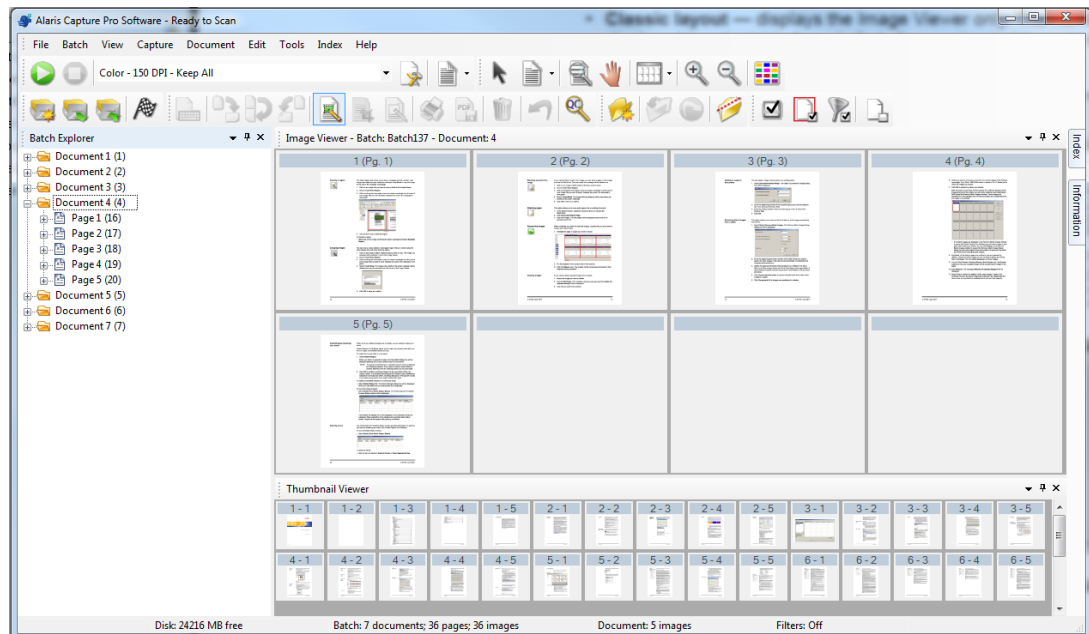
ツールバーと画像ウィンドウを必要に応じて移動したり、非表示にしたりできます。キャプチャプロ ソフトウェアはジョブの終了時に、各ジョブの設定を記憶します。つまり、ジョブごとに異なる方法でジョブを表示できます。**[表示] > [レイアウト] > [クラシック]** (または **[拡張]**) を選択すると、いつでも画面をデフォルトレイアウトに戻すことができます。

クラシックレイアウトを使用時に、拡張レイアウトからウィンドウを追加したい場合は、[表示] メニューを表示して、目的のウィンドウ（バッチエクスプローラやインデックスウィンドウなど）を選択します。追加のウィンドウがクラシックレイアウトに表示されます。

- **クラシックレイアウト**— イメージビューアのみを表示します。表示画像数として1、2、4、8の中から選択するか、或いは最大6列×6行までカスタマイズできます。



- **拡張レイアウト**— イメージビューア、サムネイルビューア及びバッチエクスプローラを表示します。各ウィンドウは必要に応じてサイズを変更できます。



### 3 トラブルシューティング

---

#### テクニカルサポート

Kodak Alaris のウェブサイト [www.alarisworld.com/go/CaptureProSupport](http://www.alarisworld.com/go/CaptureProSupport) で、キャプチャプロ ソフトウェアのテクニカルサポートが見られます。サポートページには、製品アップグレードのダウンロード、ドライバ、アクセサリ、FAQ（よくある質問）へのアクセス方法、お客様がお住いの国・地域で提供されているキャプチャプロ ソフトウェアのサポートオプションの詳細など、製品ごとの情報が掲載されています。



## 付録 A キーボードのショートカット

---

キャプチャプロ ソフトウェアで作業をしている場所に応じて、以下のショートカットが利用可能です。

• F1-ヘルプは、キャプチャプロ ソフトウェアのどこでも利用可能です。

• **バッチエクスプローラ・イメージビューア**：これらのショートカットが利用可能です。

一般	
J	ジョブセットアップ
F2	ページセットアップリストを表示
F5	ページセットアップを表示
F3	バッチを開く
F7	キャプチャを開始
F6	キャプチャを停止
Enter	新たなドキュメントのキャプチャ
Ctrl-Enter	新たなドキュメントのキャプチャ
O	バッチの出力
Ctrl+Shift-W	バッチを閉じる
Ctrl+S	ステータスバーを表示/非表示
Ctrl+P	印刷
確認と編集	
A	実際のサイズで画像を確認
F	ウィンドウに画像を合わせる
1、2、4または8	イメージビューアで確認する画像の枚数を設定
Ctrl-F9	カラー画像を表示/非表示
Ctrl-F10	グレースケール画像を表示/非表示
Ctrl-F11	白黒画像を表示/非表示
Ctrl-A	すべての画像を選択（バッチエクスプローラ）
Ctrl-D	すべての画像を選択解除（バッチエクスプローラ）
Ctrl-F	すべてのフラグ付き画像を選択（バッチエクスプローラ）
F4	ページを添付（選択したドキュメント）
Insert	選択したページにページを挿入
Del	選択したドキュメントまたは選択したページを削除
F8	選択したドキュメントを削除
C	フラグツールを選択
M	拡大ツールを選択
P	スクロールツールを選択
S	セレクトツールを選択

<b>確認と編集 (続き)</b>	
↑	上にスクロール
→	右にスクロール
↓	下にスクロール
←	左にスクロール
Shft- ↑	180°回転
Shft- →	90°回転
Shft- ↓	180°回転
Shft- ←	270°回転
+	ズームイン
-	ズームアウト
Ctrl+L	ドキュメントを分割 (バッチエクスプローラ)
K	白紙画像セットアップを削除
R	選択した画像を再スキャン
Z	描画範囲ツールを選択
Ctrl-B	選択した領域を空白にする
Ctrl-R	選択した領域を切り取る
Ctrl-Z	前の白紙または切り取りを取り消す
Ctrl-I	画像部分をコピー
<b>移動</b>	
D	ドキュメント番号を指定
I	画像番号を指定
<b>バッチエクスプローラ</b>	
Ctrl-Home	バッチの最初のドキュメント
Ctrl-End	バッチの最終ドキュメント
Ctrl-Page Up	バッチの以前のドキュメント
Ctrl-Page Down	バッチの次のドキュメント
<b>イメージビューア</b>	
Home	ドキュメントの最初のページ
End	ドキュメントの最終ページ
Page Up	前のページ — すべてのドキュメント
Page Down	次のページ — すべてのドキュメント
<b>・インデックスモード：これらのショートカットが利用可能です。</b>	
E	インデックス フィールドの編集
F9	前のドキュメント
F10	次のドキュメント
F11	次の無効なドキュメント
F12	保存してインデックスを終了
Esc	キャンセルしてインデックスを終了





